

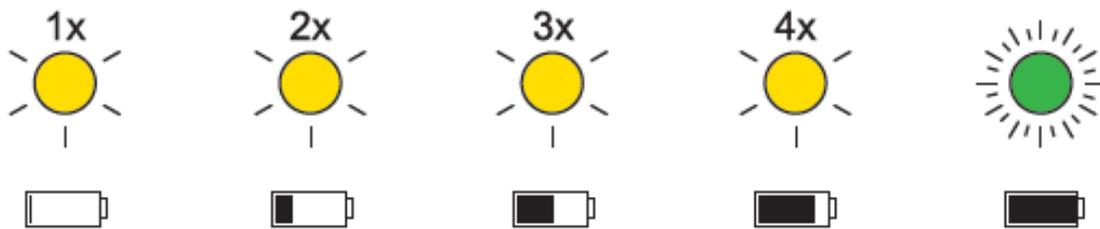
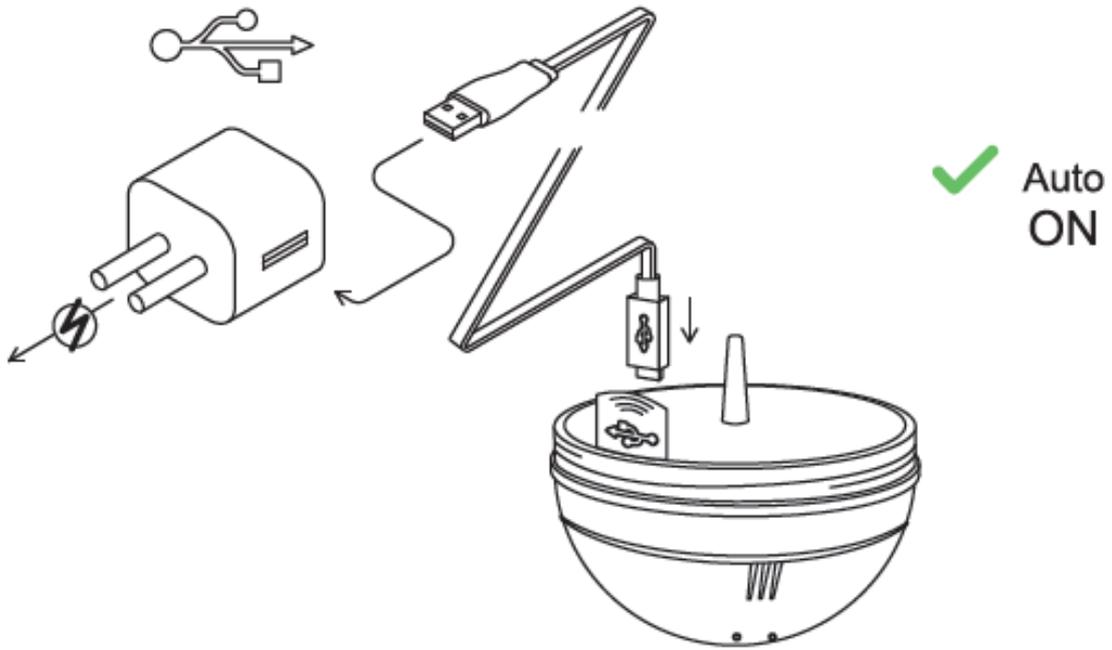
# ようこそ

充電と接続について	2
モバイルデバイスとペアリングする	5
岸釣りで使うための取り付け	7
キャストしてスキャンする	10
カヤック、フロート、ボートフィッシングで使う	12
トローリングとスキャン	13
アイスフィッシング	14
陸釣りでDeeperを使うための基本事項	15
さまざまな条件での陸釣り - 栈橋や堤防、河川	17
Deeperをボートやカヤック釣りで使うための基本	19
アイスフィッシングの基本	20
最大接続距離	25
GPSの接続と利用	27
Fish Deeperアプリをインストールする	29
My Deeperアカウント	29
ソナー設定	32
データを同期する	38
リアルタイムモード：詳細スキャン（PROシリーズ）	40
リアルタイムモード：詳細スキャン（CHIRP+）	41
詳細スキャンモードでどのように魚を見つけるか？（PROシリーズとCHIRP+）	43
アイスフィッシング（穴釣り）モード（PROシリーズとCHIRP+）	45
ボートモード（PROシリーズとCHIRP+）	46
陸釣りGPSモード（PRO+およびCHIRP+モデルのみ）	47
メンテナンス	48



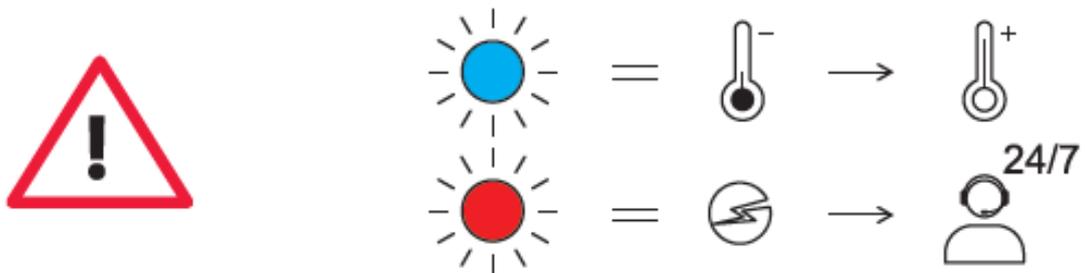
## 充電と接続について

まず、蓋をひねってカバーをあけます。あける前に製品が十分に乾燥していることをご注意ください。充電口から付属のUSBケーブルで電源に接続してください。充電の際は標準的なスマートフォンの充電器を使用するか、パソコン、車載充電器、その他機器のUSB出力に接続してください。



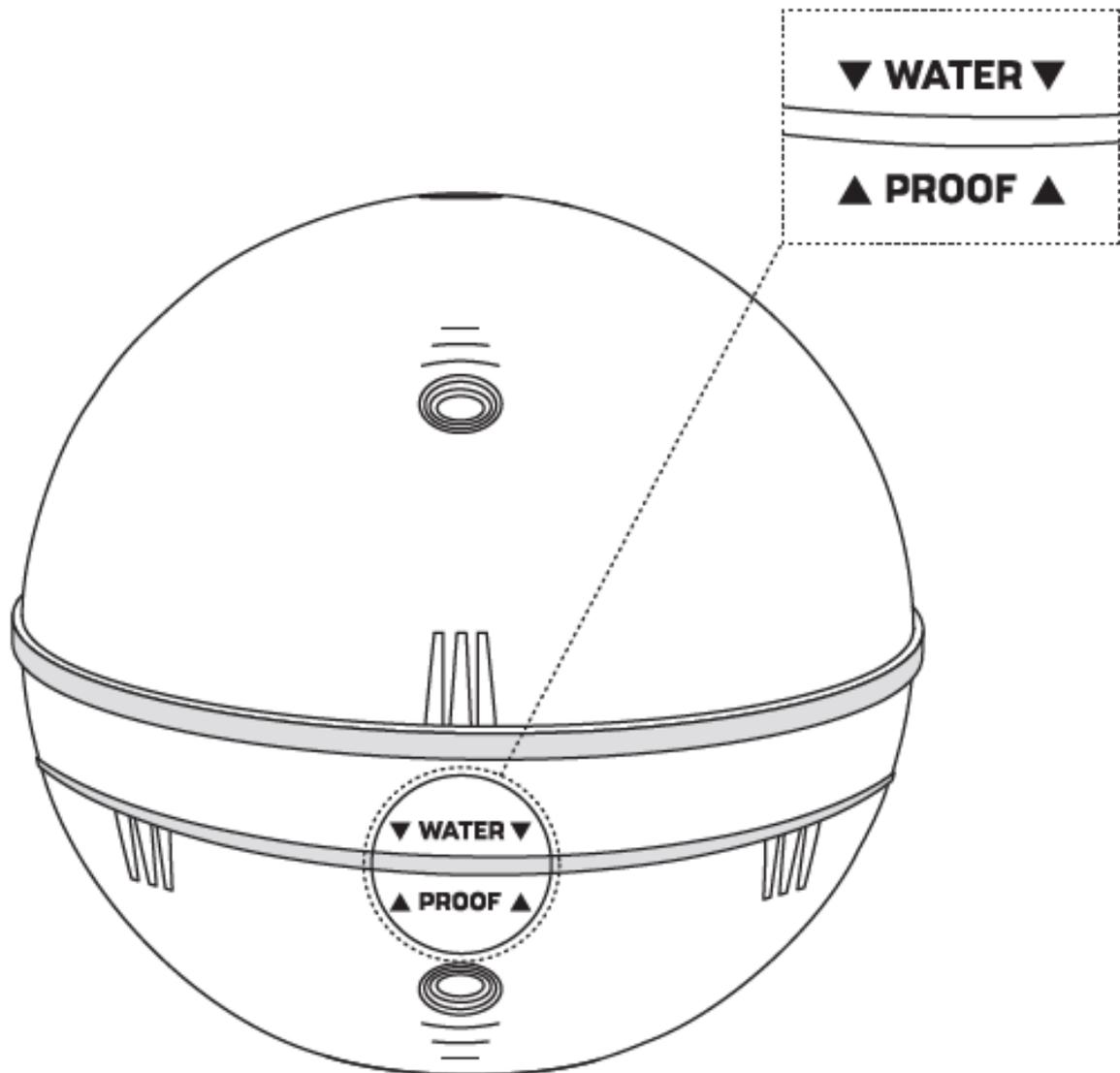
Deeper CHIRP+が電源に接続されると、自動的に起動します。オレンジのライトが点滅したら、充電されていることを示します。点滅の間隔でバッテリーの充電状態を示します；

- 点滅1回はバッテリーが空に近く、充電を開始したことを示します
- 点滅2回は25%充電が完了したことを示します
- 点滅3回は50%充電が完了したことを示します
- 点滅4回は75%充電が完了したことを示します
- 緑色のライトが点灯したら、充電が完了したことを示します



- 青色のライトは製品の温度が低すぎて充電ができないことを示します。リチウムイオン電池は3°C以下では充電できません。Deeperを室温状態の場所に移動し、再度充電を試みてください。
- 赤色のライトが点灯した場合は充電に何かしら問題があることを示します。まず、ほかのケーブルや充電器で充電が可能かお試しください、次に、通常より長い時間（1時間以上）充電し続けてください。依然として問題が解決しない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。

充電が完了したら蓋を締め、“water”と“proof”マークが合わさるまでしっかりと閉じます。

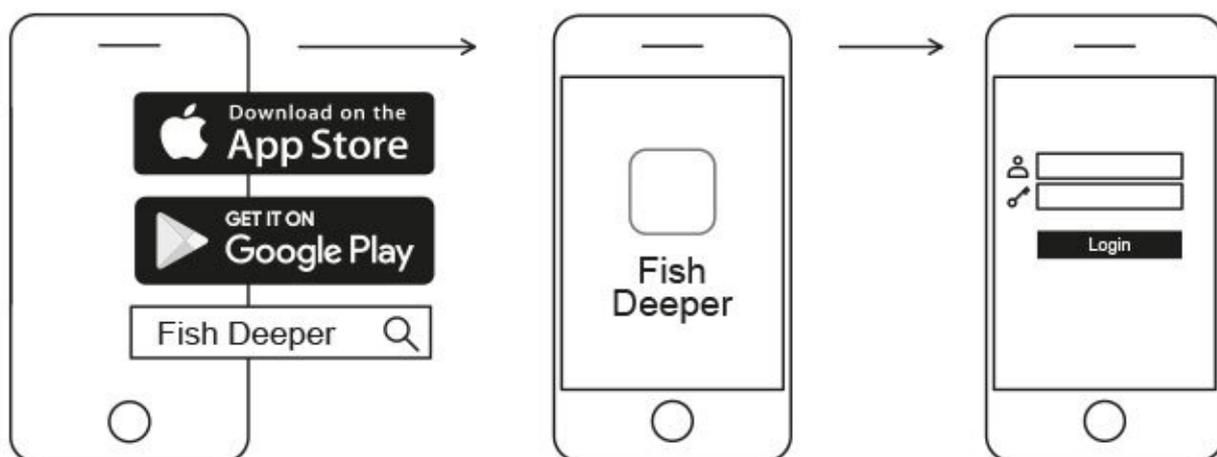


①Deeperが電源に接続された状態のまま水に浸けないでください。製品内部に損傷を与える可能性があり、浸水による故障は保証では対応できませんのでご注意ください。蓋を締める際は必ず“water”と“proof”が合わさるまでしっかりと締めてください。

①1台のスマートフォンまたはタブレットには1台のDeeperのみ接続できます。また、1台のDeeperは1台のスマートフォンまたはタブレットにのみ接続できます。ご注意ください。

## モバイルデバイスとペアリングする

Deeperは底面のセンサーが水に触れるか、電源に接続されると自動で起動します。また、水から離れるか電源から外されると自動的にオフになりバッテリーを節約します。Deeperをご利用になる前に、DeeperアプリをAppストアかGoogle Playストアからダウンロードしてください。アプリを立ち上げると登録画面が表示されるので、アカウントを登録してください。アプリのすべての機能を利用するためにはアカウント登録をする必要があります。



### Android端末とのペアリング方法：

- Deeperの電源が入っていることを確認してください（底面を水に触れさせるか電源に接続）
- スマートフォン、タブレットから設定を開き、Wi-Fiをオンにします
- Wi-FiデバイスリストからDeeperを選んでペアリングを行います
- パスワードを求められたら「12345678」を入力します
- ONになっている場合は）スマートネットワークスイッチの設定をOFFにします

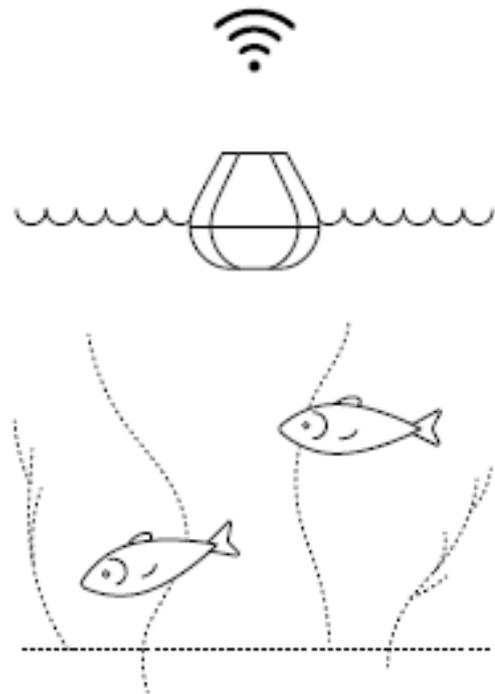
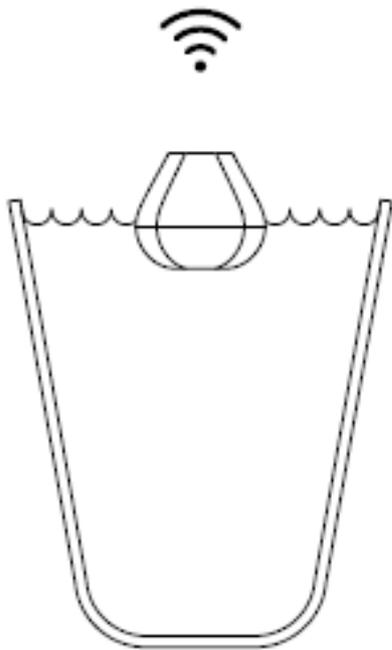
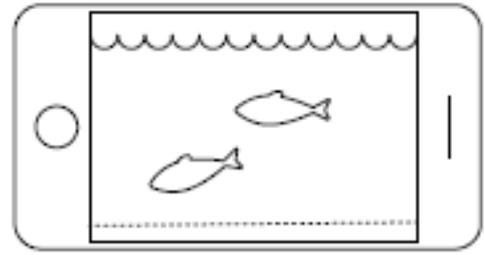
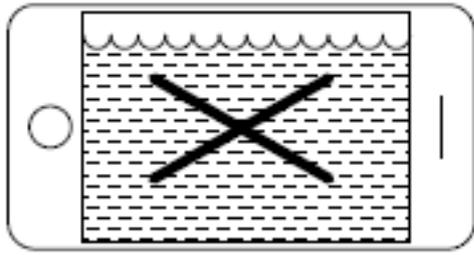
これでDeeper CHIRP+とスマートデバイスのペアリングが完了しました。「インターネット接続がありません」のようなメッセージが表示されるかもしれませんが、心配ありません。Wi-Fi接続がDeeperで利用されているためにインターネットは利用いただけませんということです。

### iPhone、iPadとのペアリング方法

- Deeperの電源が入っていることを確認してください（底面を水に触れさせるか電源に接続）
- iPhone、iPadから設定を開き、「モバイルデータ」メニューから「Wi-Fiアシスト」がオフになっていることを確認します。Wi-Fiアシストが有効になっているとDeeperとの接続が不安定になることがあります。
- 設定からWi-Fiをオンにします
- Wi-FiデバイスリストからDeeperを選んでペアリングを行います
- パスワードを求められたら「12345678」を入力します

これでDeeper CHIRP+とiPhone、iPadのペアリングが完了しました。「インターネット接続がありません」のようなメッセージが表示されるかもしれませんが、心配ありません。Wi-Fi接続がDeeperで利用されているためにインターネットは利用いただけませんということです。

**ご自宅でああなたのソナーを試すことまでできますが、おそらく魚影を正確に見ることはできません**



あなたが自宅にある水槽、カップ、バケツ、バスタブなどの容器にDeeper CHIRP+を入れた場合、製品が起動し、スマートフォンとペアリングすることができます。しかし、水深や魚影に関しては正しくスキャンできない可能性があります。「接続されていない」「水深が浅すぎるか深すぎる」というメッセージが表示されるはずですが、CHIRP+がナロービーム（7°）に設定されている場合は、幻影やその他の奇妙な測定値が画面に表示されることもあるかもしれません。

これは普通のことです、Deeperは川や湖および海のような広く開いた水の中でスキャンするために設計されています。小さく浅く囲まれた水域では、ソナーはスキャンしようとしていますが、タンクの底や壁からあまりにも多くのソナーが戻ってくるため、正確な読み取りができません。[ソナーの仕組み](#)ページにこのことについて説明してあります。

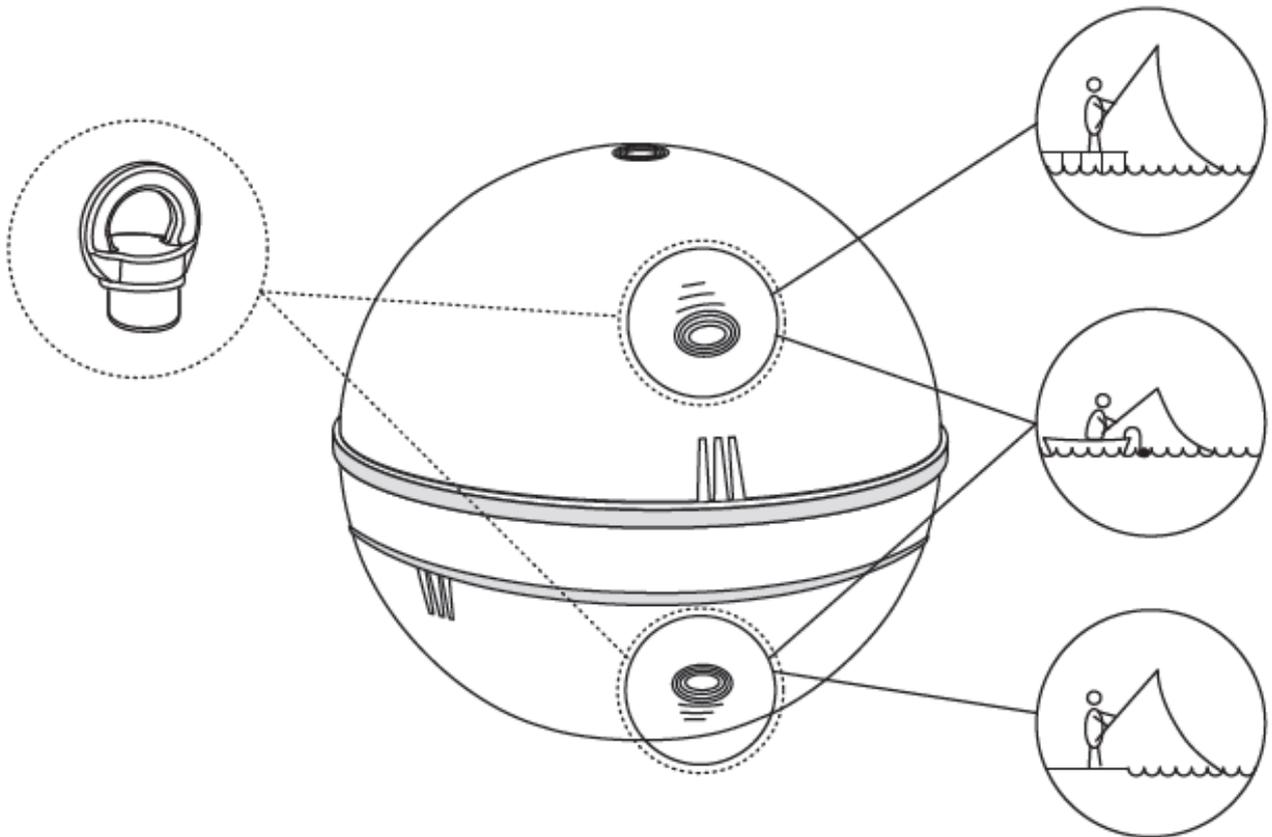
## 岸釣りで使うための取り付け

Deeperを岸釣りで使うには、以下のステップに従ってください：

- 防水カバーのマークが完全に揃うまで、トップカバーがしっかりと閉め、しっかりと固定されていることを確認します。マークの位置がずれる場合は、しっかりと固定するため

に一度反時計回りに回し、カチッと音がして一段下がってから、次にしっかりと固定されるまで時計回りに回します。

- 取り付けボルトを釣り糸にしっかりと結びます。
- 取り付けボルトを正しい取り付け位置にしっかりとねじ込みます。堤防または栈橋から釣りをする場合は、中央の取り付けポイントを使用してください。あなたが岸から釣りをしているのなら、一番下のアタッチメントポイントを使ってください。

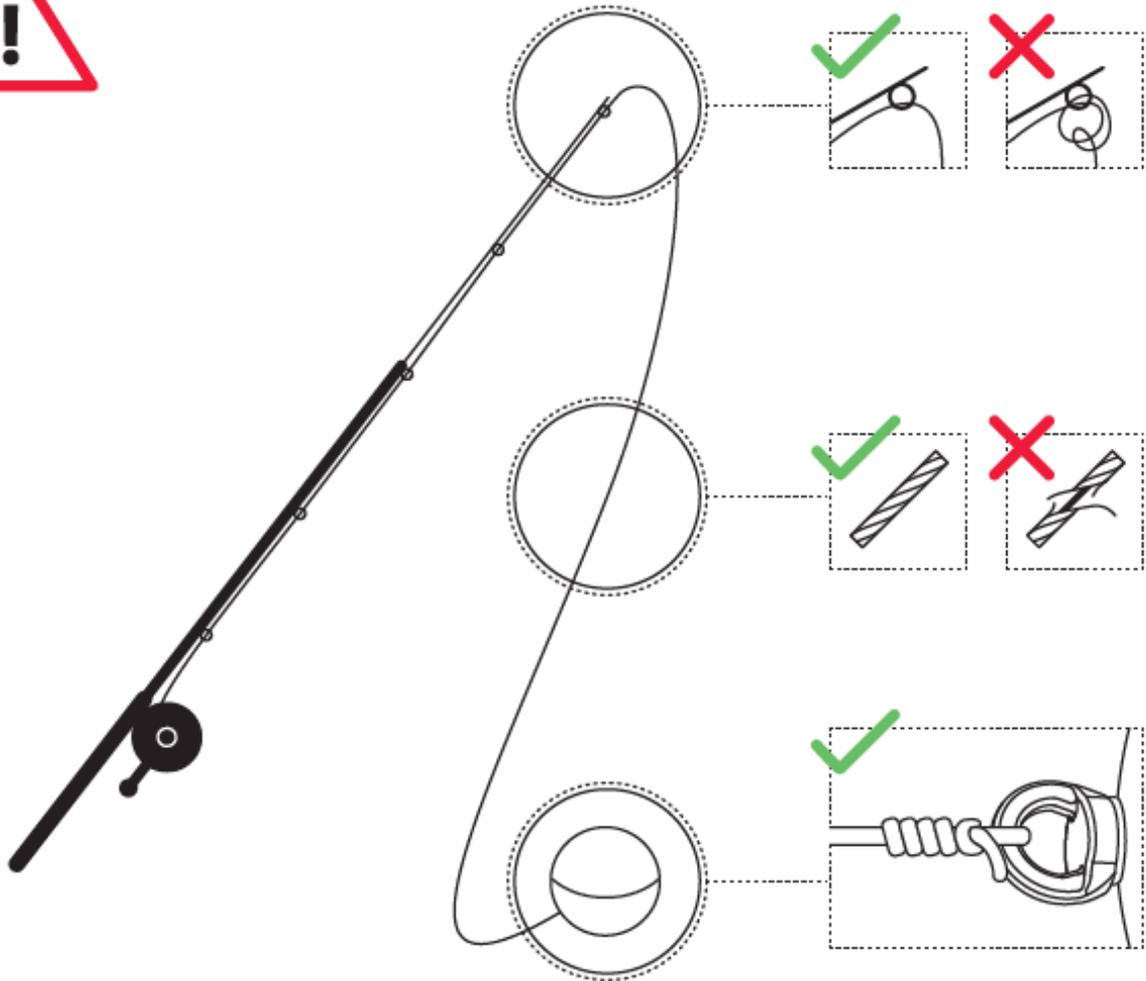


①付属のアタッチメントボルトは1本だけ使用してください。箱に入っているもう一つのボルトは予備です。また、正しい取り付けポイントを使用してください。間違った取り付け位置を使用すると、装置が水中で傾くため、接続性とソナーの測定値の精度に影響を与えます。

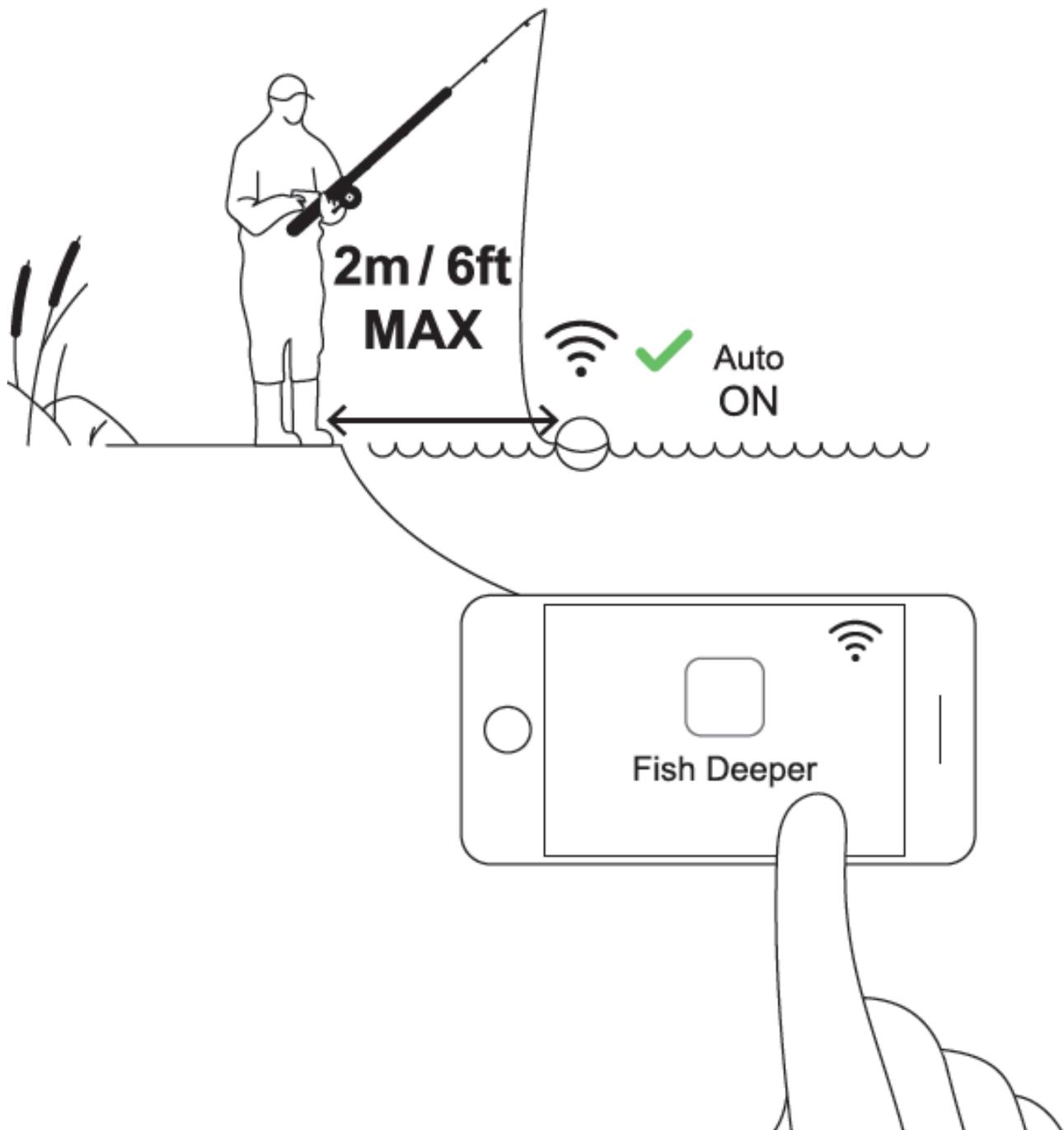
Deeperをキャストする前に、もう一度ラインとロッドに正しく取り付けられていることを確認してください。しっかりと固定するために以下の項目を確認してください：

1.ラインがガイドを正しく通過していますか？ ラインがここでループまたは結び目になっていると、キャスト時にラインが切れてソナーがなくなる可能性があります。

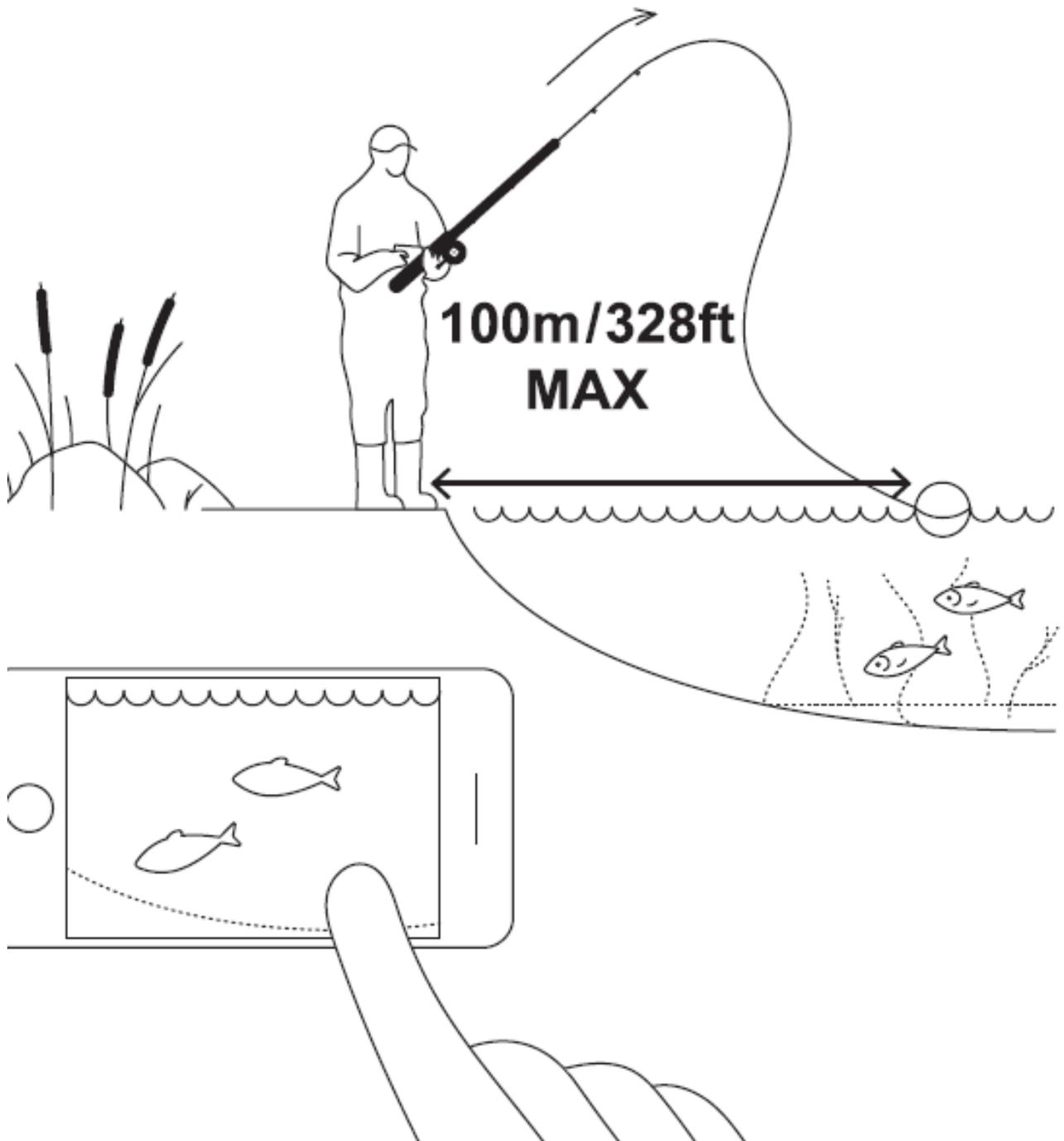
2. ラインは擦り切れていない良質のラインを使用していますか？ ラインはアタッチメントボルトにしっかりと固定されていますか？ しっかりと結び付けられていないと、あなたのソナーが失われる可能性があるので、これは重要です。



## キャストしてスキャンする



それではDeeper CHIRP+を調べたい場所にキャストしてスキャンしましょう（Deeperとスマートフォンの接続距離は最大100mです）。ゆっくり低速で巻き取ると通過した場所のスキャン情報をスマートフォンやタブレットに表示します。



① Deeperをキャストして巻き取るときは、スマートフォンやタブレットはdeeperからの電波を受信しやすい位置でお持ちください。スマートフォンなどが地面に置かれていたり、ポケットに入っていると正しく受信しないことがあります。Deeperスマートフォンホルダを使ってロッドに固定することをお勧めします。

CHIRP +を使えば、キャストしながら水中地形図を作成することもできます。手順は次の通りです：

- 陸釣りGPSモードを選択（設定＞陸釣りGPS）
- 近くにDeeperをキャストし、GPS衛星が位置を捕捉するのを待ちます。捕捉すると「GPSを探しています」が「GPSが見つかりました」に変わります。

o ステータスが「GPSが見つかりました」に変わったら、マッピングしたい場所にキャストし、巻き取ります。アプリの地図画面に、色分けされた水深マップが表示されます。

①GPSがDeeperを捕捉するのに少し時間がかかる場合があります。特に、しばらく使用していなかった場合などは、水に浸けたまま少しお待ちください。いったん水から揚げて再びキャストする場合、GPSステータスが「GPSを探しています」に戻ることもあります。少し待って「GPSを捕捉しました」となってから巻き取ってください。ステータスが長い間「GPSを捕捉しました」とならない場合、その日の気象条件、地形条件、GPS衛星の状況、Deeperとスマートフォンの間に遮蔽物がある可能性があります。

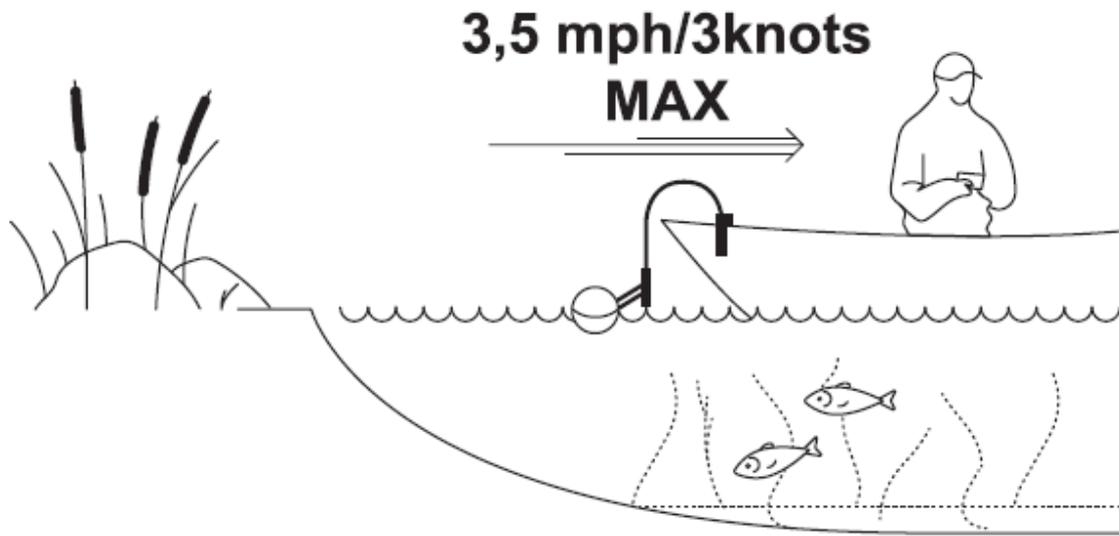
## カヤック、フロート、ボートフィッシングで使う

Deeperをボート釣りなどで使用するには、次のステップに従ってください。

- 防水のため、トップカバーがマークが合わさるまでしっかり締められていることを確認します。
- Deeperフレキシブルアームマウントと、安全ストラップを用意します。
- Deeperソナーをフレキシブルアームマウントに取り付けます。

- Deeperフレキシブルアーム（旧型）を使用する場合は、一番上の取り付けポイントを使用して本体を固定します。次に、クランプを使用してフレックスアームをボートなどに取り付けます。安全性を高めるために、しっかりと固定できるものに固定するとよいでしょう

- Deeper フレキシブルアーム 2.0を使用している場合は、最初にFlexible Armのプラスチック製の節点をDeeperソナーの一番下の取り付け位置に置き、次に中央の取り付け位置にネジをしっかりと締めます。それから、G-クランプをあなたのボートの厚さ70mm / 2.7インチ以下の部分に取り付けます。



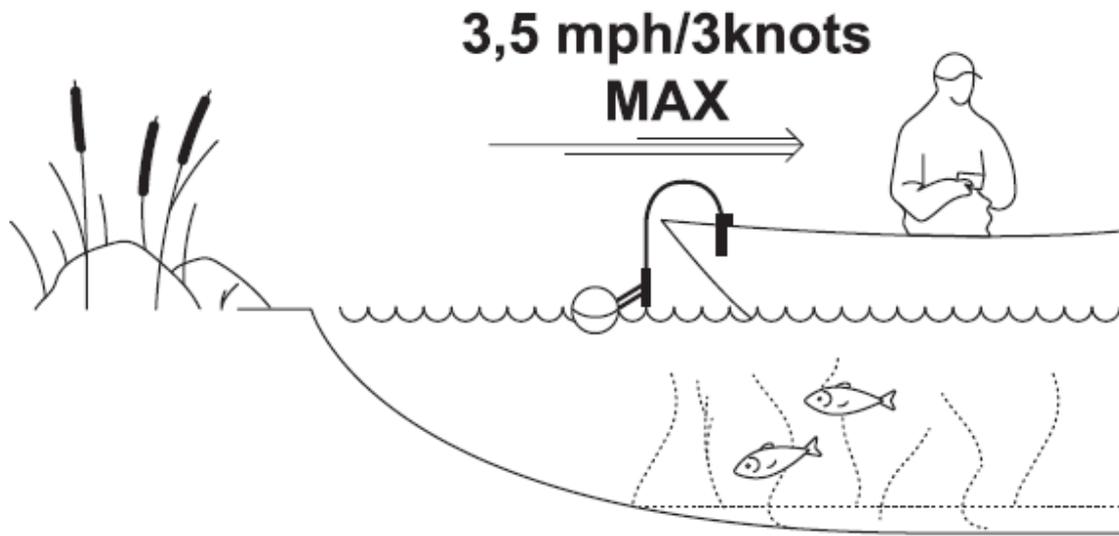
- セキュリティストラップをボートなどに固定します。
- アームを調整して、ソナーの下半分が水に浸かるように配置します。

① Deeper紛失防止のため、フレキシブルアーム2.0をご使用の際は必ず安全ストラップをご使用ください。また、Deeperを完全に水中には入れないでください。Wi-Fiが遮断され接続が途切れてしまいます。

## トローリングとスキャン

Deeperをボートなどに取り付けたら、ゆっくりとトローリングしてスキャンしたり、等深線マップを作成しましょう。スキャンとマップを分割して表示するには、Deeper Appでボートモード ([設定]> [ソナーモード]> [ボートモード]) を使用します。ボートは時速5 kmまでにすることを勧めます。

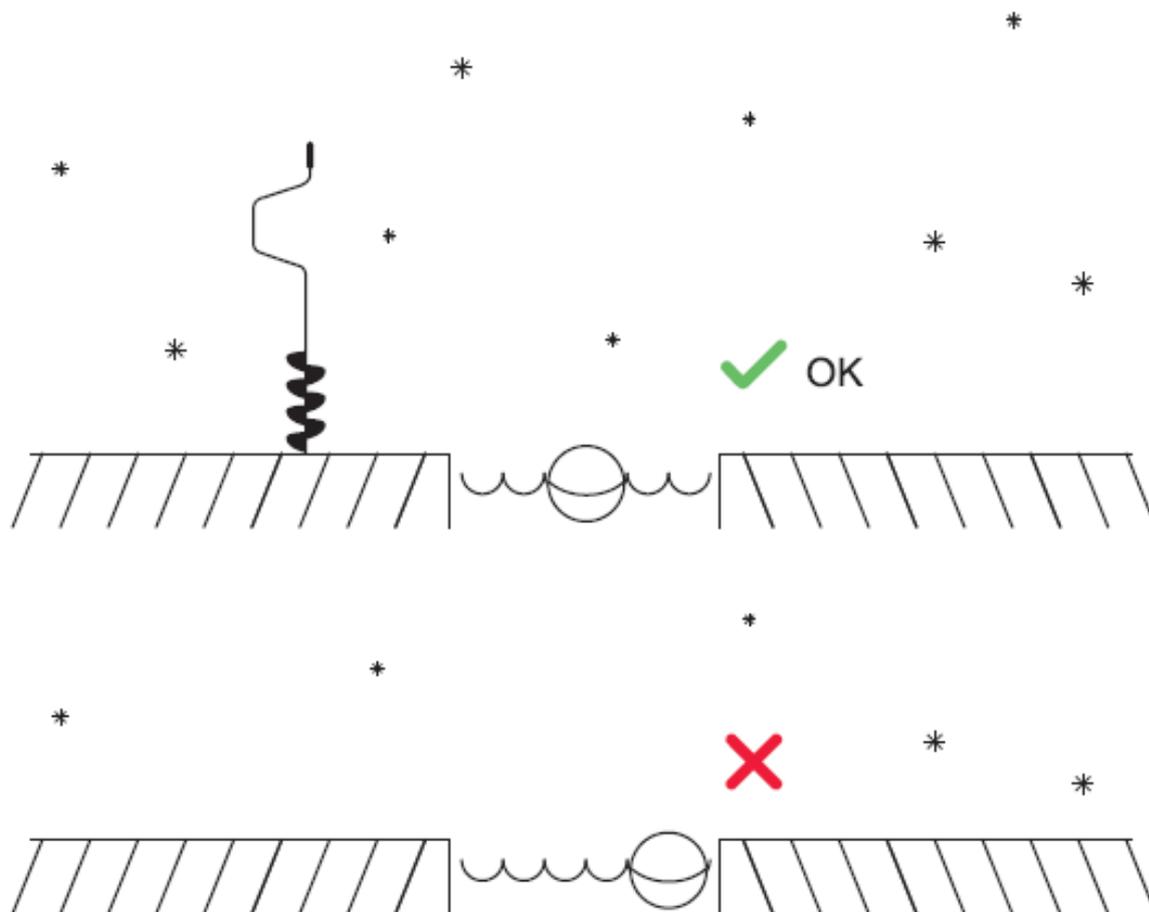
① 船を操縦するとき、スマートフォンなどはDeeperソナーからの信号を簡単に拾うことができる位置に持ってください。スマートフォン/タブレットがボートの床やポケットの中にあると、接続が不安定になることがあります。



## アイスフィッシング

Deeperをアイスフィッシングのためにセットアップするには、以下のステップに従ってください：

- 防水マークが完全に揃った状態で、トップカバーをしっかりと締めます。
- 氷の穴を開けて、Deeperソナーを浮かべます。
- Deeperアプリでアイスフィッシングモードを有効にします ([設定]>[ソナーモード]>[アイスフィッシングモード])
- Deeperが氷に当たらないように氷の穴の中央に浮かぶようにします。
- Deeperをラインに取り付ける必要はありませんが、便利さや安心のために、アタッチメントボルトを一番上のアタッチメントポイントにねじこみ、必要に応じてラインを結ぶことができます。
- Deeperが浮かんでいる穴は自動的にあなたのマップ上にマークされます。

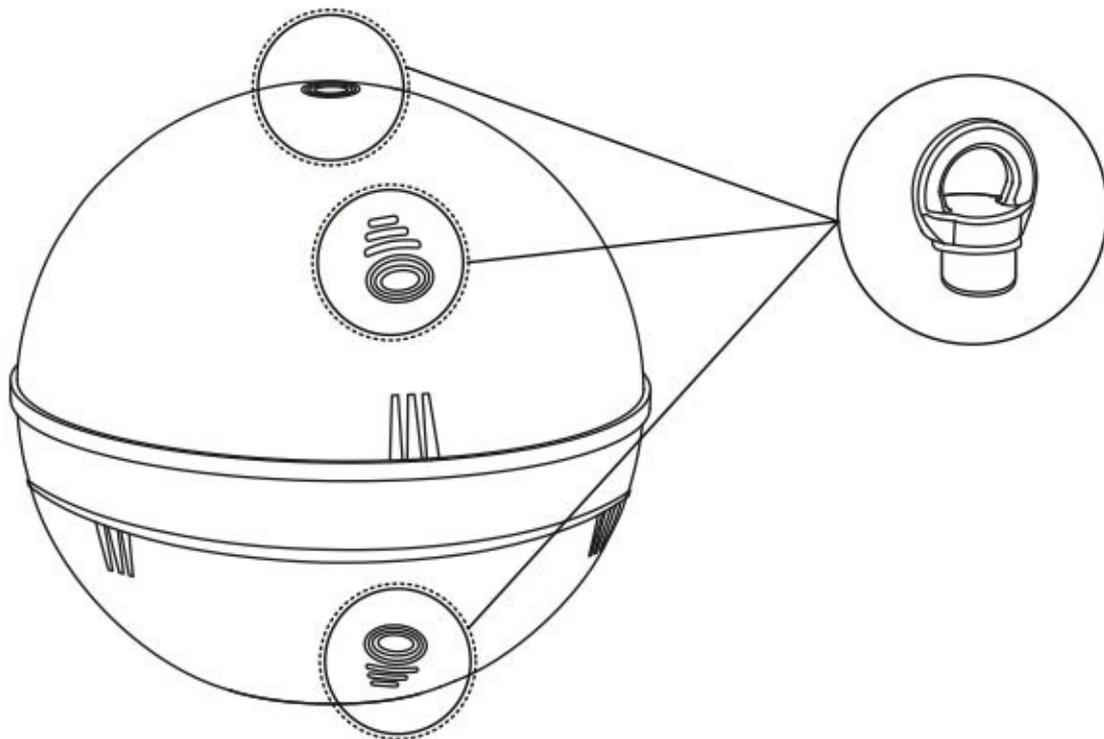


①**Deeper**を氷の穴に浮かべたら、スマートフォン/タブレットはソナーからの信号を簡単に拾うことができる位置に持ってください。スマートフォン/タブレットがポケットに入っていると、接続が不安定になることがあります。地図上の各氷の穴の位置を正確に記録するには、最初にDeeperソナーを浮かべたときに、スマートフォンをDeeperが浮かぶ穴の近くに寄せてください。その後、さらに遠くに移動することができます。

## 陸釣りでDeeperを使うための基本事項

### キャストする

—**接続ポイント**：陸釣りの場合は、Deeperが水平に浮かんだまま巻き取れ、真下に音波を発射できるように、ラインをDeeperの3つのアタッチメントフックの真ん中か一番下に取り付けるようにしてください（これはアタッチメントポイントが1つしかないDeeper STARTには適用されません）。他の接続点を使用すると、ソナーが誤った角度で水中に発射され、水深がご表示になる可能性があります。



**ーライン**：Deeperソナーシリーズは6ポンド/2.7キロモノフィラメントから20ポンド/9キロブレイドラインまでのラインを使ってキャストするためにテストされています。ただし、Deeperをキャストする前に、常にあなたのラインが良い状態にあるのを確認してください。擦り切れたりほつれていたりしてはいけません。

**ーロッド**：Deeperソナーはヘビーロッドとミディアムロッドでのキャストに最適です。ヘビーロッドを使えば、Deeperをオーバーヘッドキャストすることができます。ミディアムロッドでは、サイドキャストテクニックを使ってDeeperをキャストしてください。

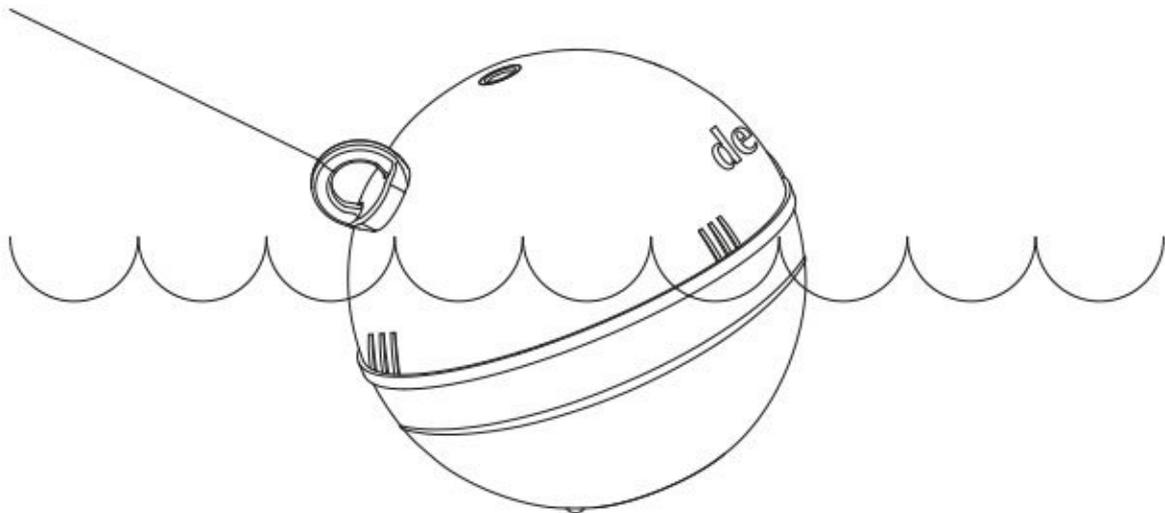
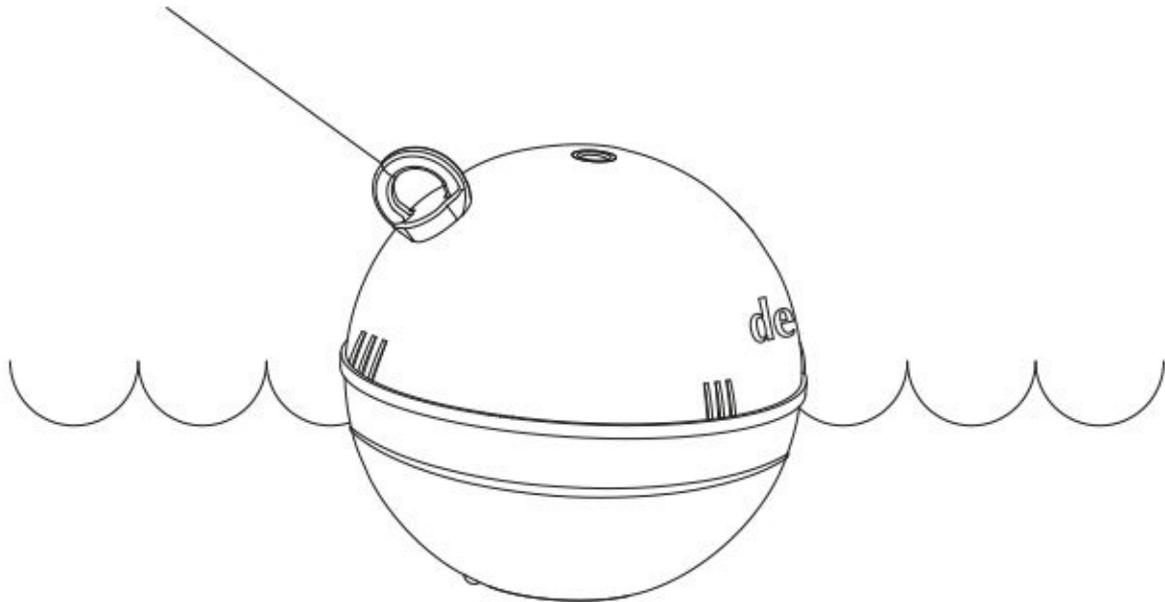
### **巻き取る**

Deeperソナーを巻き取る時に最も重要な点は、ゆっくり一定のペースで巻き取ることです。なぜなら；

**ーゆっくりと巻き取る**：早く巻きすぎると、深く左右に揺れることがあります。これが起こると、ソナーの読みは信頼性が低くなります。例えば、ソナーが片側に傾いている場合、ソナーの信号は底に当たる前にさらに進む必要があります。これにより、実際よりも奥行きが深く表示されます。

**ー速度一定で巻き取る**：Deeperを一定の速度で安定した状態で巻き取ることも重要です。あなたのソナーは常にスキャンしていることを忘れないでください。つまり、デバイスが静止している場合、ソナーは同じ深さの読み取り信号を繰り返し送信しているため、スキャン画面の下部が平らに見えます。ソナーを巻き取り始めても、底があなたのディスプレイ上で平らなままであるならば、それは水底が本当に平らな底であることを示します。深さが変化するにつれて、例えばあなたがドロップオフの上を通過しながら巻き取っ

ている場合、安定した速度を保つことが重要です。巻き取り速度を遅くすると、ディスプレイ上の傾きが緩やかになります。スピードを上げると、傾きが急に見えます。安定した速度を維持することで、深度の変化が実際にどれほど急なものであるかを正確に示すことができます。



## さまざまな条件での陸釣り - 栈橋や堤防、河川

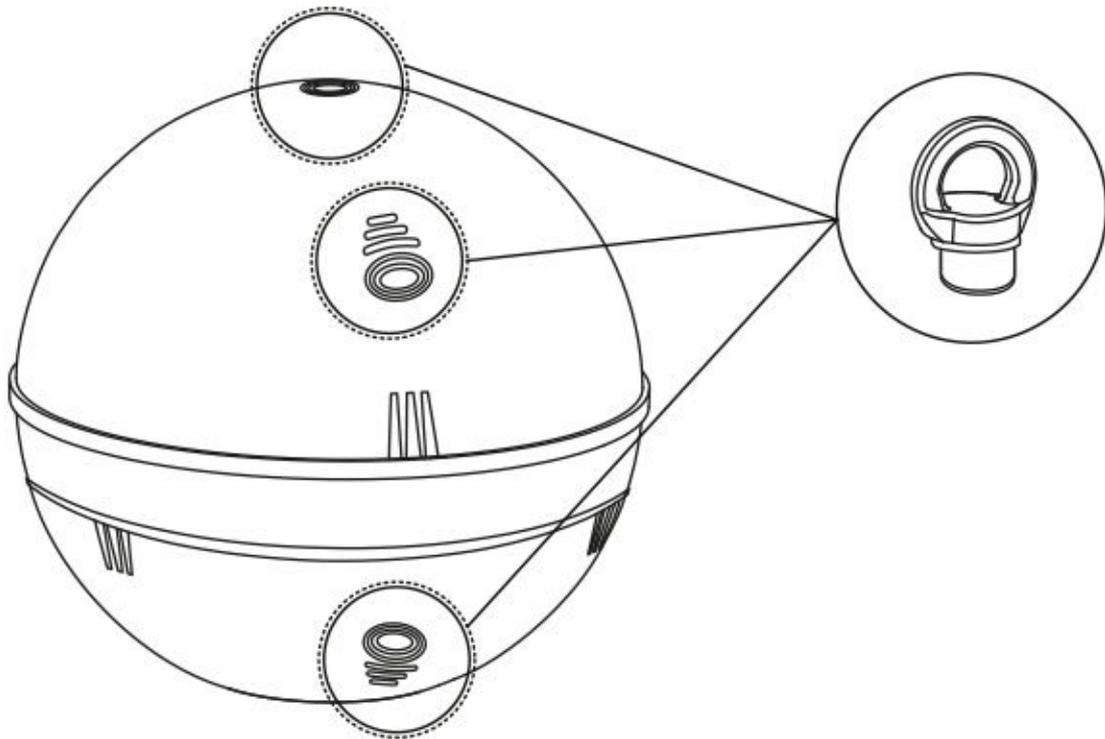
Deeperが海岸、栈橋、堤防から（海水中でも）、そして川からでも使うことができます。その場合は多少セットアップとアプローチを調整する必要があります。

### 堤防、栈橋および橋からキャストする場合

あなたのラインをあなたのDeeper上の3つのアタッチメントポイントの真ん中のアタッチメントポイントに接続することを確認してください（これは接続点が1カ所のみDeeper

STARTにはあてはまりません)。他の接続点を使用すると、ソナーが誤った角度で水中をスキャンしてしまいます。

Deeperソナーは海水での使用に対応しています。ただし、なるべく波が静かな状況でお使いください。海が荒れていると、スマートフォンへの接続に影響が出る可能性があります。



#### 河川にキャストする場合

Deeperソナーは、流れが速すぎないという条件のもとで、河川の推進や地形を見つけるのに適しています。湖からキャストする場合と同じ接続点を使ってください（川岸からの時は一番下の接続点、橋や栈橋の上からの時は上から2番目の接続点）。

河川での釣りでのDeeperの最大の強みは地形を知れることでしょう。ただし、流れが速い場合は、正確に水深や魚影を把握することは難しいことがあります。Deeperソナーを川の流れに乗せて下流に向けて流すことで地形がカバーされることがあります。

DeeperPRO +またはCHIRP +を使用している場合は、陸釣りGPSモード（[設定]> [ソナー]> [ソナーモード]> [陸釣りGPS]）を使用することをお勧めします。

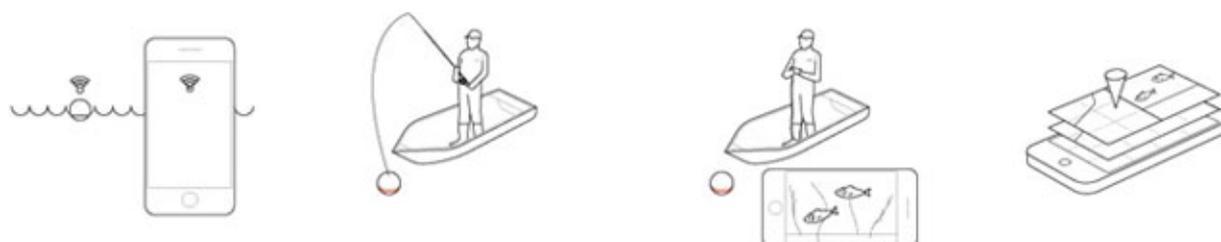


DeeperPROまたはPRO +を使用している場合は、マッピングの精度を高めるためにナロービーム（290 kHz）を使用することをお勧めします。

CHIRP +を使用している場合は、マッピングの精度を高めるためにナロー CHIRPまたはミディアムCHIRPを使用することをお勧めします。 [\[A1\]](#)

## Deeperをボートやカヤック釣りで使うための基本

Deeper PRO、PRO +、CHIRP +は、Deeperフレキシブルアームマウントを使用してカヤックやボートに接続し、トローリングするのに適しています。また、手の届きにくい場所をスキャンしたり、トローリングではたどりつけないところを調べるためにDeeperを船からキャストすることもできます。Deeper STARTは、あなたのカヤックやボートからのキャストに適しています。



### トローリング

Deeperフレキシブルアームマウントを使用してDeeper PRO、PRO +、またはCHIRP +をカヤックまたはボートに取り付けたら、トローリングの準備が整いました。大まかな水深を取得するには、より高速でのトローリング（3.5 mph / 5 kmphなど）が適しています。

正確な水深や水中構造物をスキャンしたい場合は低速（2mph / 3kmph）以下でトロローリングしてください。

### マッピング

トロローリングしている際はアプリはあなたのスマートフォンやタブレットのGPSを使用して水深（等深線）マップを作成します。この機能を使うためには、ボートモードを選択します（[設定]>[ソナー]>[ソナーモード]>[ボートモード]）。ディスプレイは左側に地図、右側にスキャン画面が表示される分割画面になります。

DeeperPROまたはPRO +を使用している場合は、マッピングの精度を高めるためにナロービーム（290 kHz）を使用することをお勧めします。

CHIRP +を使用している場合は、マッピングの精度を高めるためにナローCHIRPまたはミディアムCHIRPを使用することをお勧めします。

### スキャン

スキャンのみをしたい場合でも、ボートモードのまま、分割画面表示でマップを格納し全画面でスキャンを見ることができます。または、スタンダードモードに切り替えて全画面スキャン表示することもできます。画面の色が見づらい場合は、（設定>ソナー>スクリーンカラーモード）から3つの色合いのカラーパレットを切り替えることができます。

## アイスフィッシングの基本

DeeperPRO、PRO +およびCHIRP +はアイスフィッシングに適しています。このシリーズは最低-20°C / -4°Fまでの温度で動作します。なお、Deeper STARTは氷釣り用には設計されていません（0°C / 32°Fまでの温度で動作します）。アイスフィッシングにPRO / PRO + / CHIRP +を使用している場合は、アイスフィッシングモードを有効にします（[設定]>[ソナーモード]>[アイスフィッシング]）。この設定を有効にするとアイスフィッシングに最適な表示オプションが得られ、アイスフィッシングに最適なソナー設定が自動的に構成されます。



### 穴をあけて浮かべるだけ

氷に穴をあけたら、Deeperを落として浮かべ、スキャンを始めることができます。すぐに取り出せるようにラインを接続する必要はありませんが、心配な場合はラインで何かに結んでおくとよいでしょう。この場合は、一番上の取り付け点を使ってラインを取り付けます。Deeperは水に入ると自動的にオンになって、それからあなたのスマートフォンと同

期されます。同期が完了するとすぐにスキャンを始めます。ご注意くださいのは、非常に寒い状況では、底面にある2つの通電センサーに氷が付着する可能性があります。この場合、デバイスの電源が入らなくなる可能性があります。センサーから氷を落として、もう一度水に浸ければ問題は解決するはずです。

### 氷の厚さ

Deeperソナーは（他のアイスフラッシャーのように水中で動作するのではなく）水面に浮かびます。そのため、氷が非常に厚い場合、ソナー音波が氷の側面に当たって反射して戻るため、正しくスキャンされない可能性があります。これを回避するには、4つの方法があります。

•氷が非常に厚い場合は、より大きな氷の穴を開けます。これにより、ソナー音波が氷の穴の側面に当たる可能性が低くなります。

•Deeperソナーが氷の穴の真ん中に浮かぶようにしてください。

•穴の周りにある氷や雪を取り除きます。

•CHIRP +を使用している場合は、ナローCHIRPビーム（7°）を有効にします。

### バッテリー

氷点下の温度では、Deeperとスマートフォン/タブレットの両方のバッテリーがより速く消耗するであろうことに注意が必要です。少しでもバッテリーの持ちを長くするために以下の点をご確認ください。

#### Deeperバッテリー

1.釣行の前にバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

2.使用していないときは、Deeperを水から外し、断熱状態に保ってください（たとえば、Deeper PRO / PRO + / CHIRP +に付属のネオプレーンポーチの内側、またはポケットの内側など）。

3.釣りの合間にあなたのDeeperを充電するためにモバイルバッテリーをお持ちください。また、Deeperのリチウムイオン電池は3°C / 37.4°F以上の温度でしか充電できないことを覚えておいてください（充電を開始したが、充電するのに条件が冷たすぎると青いLEDが表示されます）。車の中や暖かい部屋の中で充電してください。

#### スマートフォンバッテリー

1.スマートフォン/タブレットが出かける前に完全に充電されていることを確認してください。

2.使用中のスマートフォンを断熱するためにDeeperウィンタースマートフォンケースを使用してください、バッテリー残量を保存します。

3.釣りの合間に充電できるようにモバイルバッテリーを準備してください。

### 適切な場所を探す

あなたが正しい場所で釣りをしているかどうかを判断するのは簡単です。氷の穴にあなたのDeeperを落とすだけです。深さは円形の点滅表示の中央と表示画面の右上隅に表示されます。また、ディスプレイスクリーン緑色で表示される部分の植生を探すこともできま

す。植生と深さに関するこの情報は、これが魚釣りに適した場所かどうかを判断するのに役立ちます。

氷の穴を格子状にいくつか掘ることも効果的な方法です。それぞれの穴にDeeperを浮かべ、深さがどのように変化するかを調べ、最適な場所を見つけましょう。

最後に、夏にボート/カヤックを使用して、または岸からDeeper PRO +またはCHIRP +を使用して地域の地図を作成しておいた場合は、地図を使用してアイスフィッシングの季節に最高の場所に戻ることができます。



### 魚を見つけ、ルアーを追う

Deeperアプリのアイスフィッシングモードのディスプレイは魚影を映すだけでなく、ルアーを追跡して、魚があなたのルアーにどう反応するかを見ることができます。左側には伝統的なフラッシャー風の画面があり、右側中央にはソナーディスプレイがあり、一番右側には垂直フラッシャーがあります。

- ソナーディスプレイ：これは陸釣りスキャンの時の標準ディスプレイと同じです。一番上に表示されている青い帯は氷、下にあるオレンジ色の帯は水底、そしてその間に表示されているものは魚やルアーなどです。左側のメニューでこのディスプレイの感度を調整し、カラーパレットを昼モードまたは夜モードに変更できます（[設定]> [ソナー]> [スクリーンカラーモード]）。

- フラッシャーディスプレイ：この画面はまさに伝統的なアイスフラッシャーのようなものです。中央には深さと地表水温が表示されます。側面の周りには実際のフラッシャーがあります。一番上に、青/灰色の帯が見えます。これは氷です。それから茶色/オレンジ色の帯が見えるまで時計回りにディスプレイをたどってください。そこが水底です。氷と海底の間に表示されているものはすべて、あなたのルアーか魚です。これらは緑色/黄色の帯として表示されます。

- 垂直フラッシャー：ディスプレイ画面の右側には垂直フラッシャーがあります。ここではすべてのソナーの測定値が黒の背景に白で表示されています。一番上には、わずかに動いている白い塊が見えます。これが氷です。それから、ディスプレイの下部に、下部で先細りになる厚い白い形があります - これが水底です。ルアー、ジグ、または魚は、これら2つの間に移動する白いバンドとして表示されます。バンドのサイズと太さは、オブジェクトのサイズを示しています。

- ズーム：ズームを有効にするには、左側のメニューを開きます。上部には2つのオプションがあります - 詳細とズームです。ズーム表示を選択します。これで、垂直フラッシャーに2本の赤い線が表示され（これによりズームインされる領域が定義されます）、それまでにSonarディスプレイが表示されていた奥行き測定値のある2本の赤い線が表示されます。モニターしたい深さにズームを設定するには、以下のステップに従ってください。

1. 拡大したい領域のサイズを設定します。これを行うには、垂直フラッシャーディスプレイの下部のどこかに親指を置き、垂直フラッシャーディスプレイの上部のどこかに人差し指を置きます。ズーム領域を大きくするには、親指と指を離します。赤い線が離れていくのがわかります。ズーム領域を小さくするには、親指と指を近づけます。赤い線が一緒に動くのがわかります。

2. 見たい別の部分にズーム領域を移動します。これを行うには、垂直フラッシャーの2本の赤い線の間どこかに指を置いてから、そのまま指を上下に動かします。ズームインしている領域が動くのがわかります。すると左側の深度の読みが自動的に変わります。これらを目安として、自分が正しい深度範囲を見ていることを確認できます。たとえば、20フィート/6 m以下のエリアを拡大したい場合は、一番上の赤い線の深さの読みが20フィート/6 mになるまでエリアを下にドラッグします。

3. 水中での行動を詳細に見る。これで、設定したズーム領域内に表示されているオブジェクトは、垂直フラッシャーの左側に詳細に表示されます。これにより、特に魚群を正確に追跡し、魚があなたのルアーにどのように反応するかをリアルタイムで監視することができます。

### **地図とGPSアイスホールマーキング**



アイスフィッシングモードにはマッピング機能もあります（この機能が確実に機能するには、ユーザー登録が済んでいること、釣りをしている地域のオフラインマップをダウンロードがあらかじめダウンロードされていることを確認してください）。ディスプレイの左側に地図アイコンが表示されます。これをクリックすると、現在地を示す地図が開きます。あなたが氷の穴にあなたのDeeperを浮かべたとき、その場所は自動的にあなたのマップに印が付けられて保存されるでしょう。あなたがより多くの氷の穴で釣るにつれて、これらもあなたの地図に追加されます。これらの場所のいずれかをクリックすると、その場所の深度が自動的に表示されます。あなたの釣行後、アプリの履歴メニューに行き、釣行をクリックすると見返すことができます。その時のすべての氷の穴が地図が表示されます。それぞれの位置をクリックすると、その場所のスキャン画面、水温、日付と時刻が表示されます。

この機能では、DeeperアプリがスマートフォンまたはタブレットのGPSを使用していることに注意してください（インターネット接続は必要ありません）。正確な位置を捕捉するためには、初めてDeeperを穴に浮かべたときに、スマートフォンが氷の穴から3フィート/1メートル以内にあることを確認してください。

### 複数の穴で釣る

100m（330フィート）の無線通信範囲内であれば、あなたから遠くにあるDeeperPRO / PRO + / CHIRP +をモニタリングすることを可能にします。これは、あなたが一つの氷の穴で釣り、同時に別の穴をDeeperで調べることができることを意味します。

### 他のフラッシャーからの干渉

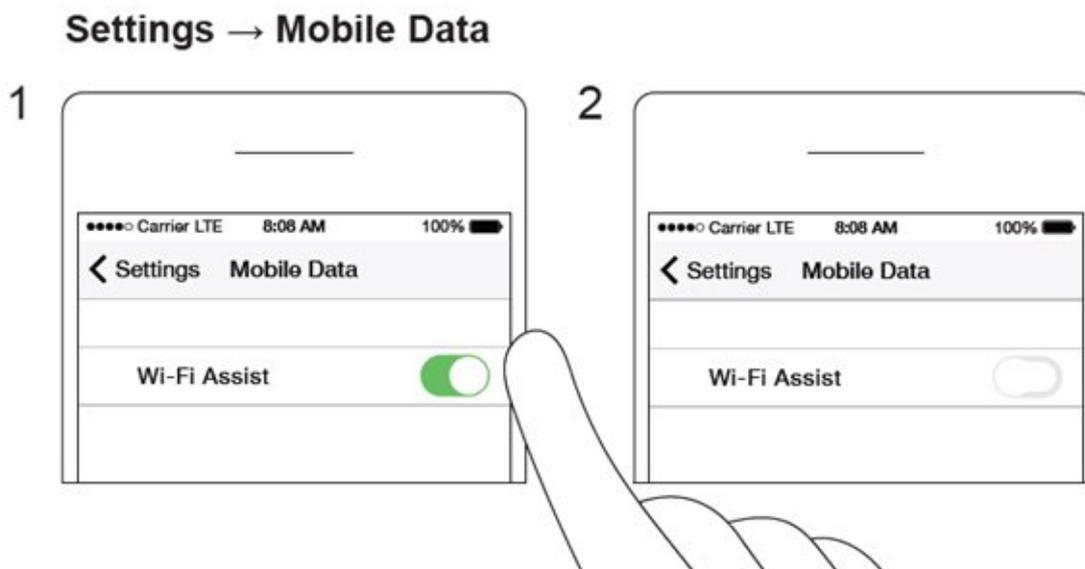
氷の穴の近くで他のアイスフラッシャーが使用されていると、これらの装置からのソナー干渉を受ける可能性があります。これはあなたがあなたのDeeperから得るソナーの読みの正確さに影響を与えることができます。可能であれば、他のアイスフラッシャーのユーザーからできるだけ離れた場所にいるようにしてください。

## 最大接続距離

すべてのDeeperデバイスはあなたのスマートフォンまたはタブレットにソナーデータを送るのに独自のWi-Fi信号を使います。インターネットや携帯電話のネットワーク信号は必要ありません。PRO / PRO + / CHIRP +の場合は100m / 330フィート、STARTの場合は50m / 165フィート、Deeper 3.0の場合は40m / 130フィートの最大接続距離は、完璧な条件でのみ達成可能です。最大接続距離を達成できるかどうかは、使用しているスマートフォン/タブレットによっても異なります - 強力な受信アンテナを備えたスマートフォン/タブレットでは、最大接続距離を達成できます。

### スマートフォン/タブレットの設定

同梱されているクイックガイドにDeeperとスマートフォンの接続方法が記載されています。最大接続距離を達成するには、モバイルデータ通信機能をオフにする必要があります。iPhoneまたはiPadをお使いの場合は、Wi-Fi アシスト機能もオフにしてください。この機能は、Wi-Fi信号が弱くなると、スマートフォンが自動的にWi-Fi電波を遮断し、携帯通信に切り替えることを意味します。そのため、より長い距離でDeeperをキャストすると、スマートフォンはWi-Fi信号が弱まったことを検出して携帯電話のデータに切り替え、Deeperを切断します。一部のAndroidデバイスには、スマートネットワークスイッチと呼ばれる同様の機能があります。



### スマートフォンやタブレットの位置

スマートフォン/タブレットは、DeeperからのWi-Fi信号を簡単に受信できるような位置でお持ちください。

その日の最初に使うときにデバイスをペアリングする際には、Deeperをスマートフォンの近く（約6.5フィート/2 m）の水の中に入れてください。Wi-Fi接続が確立されたら、デバイスをさらにキャストアウトできます。

スマートフォン/タブレットを常に水面よりも高い位置に保つようにしてください – 水面より1~1.5 m上の位置が理想です。スマートフォンをロッドに固定できるDeeperスマートフォンホルダを利用するのが理想的な位置です。

スマートフォン/タブレットを地面に置いたり、ディスプレイを見ていないときはポケットに入れたりしないでください。これによりWi-Fi信号がブロックされる可能性があるため、再接続する必要があります。

スマートフォンケース/ホルダーを身体に取り付けて使用すると、スマートフォンがWi-Fi信号を受信できなくなり、接続に問題が生じる可能性があります。このようなケース/ホルダーを使用しているときに接続の問題が発生した場合は、ケースから携帯電話を取り外してください。

金属製またはカーボン製のスマートフォンケースは、接続範囲を狭める可能性があります。このようなケースを使用中に接続の問題が発生した場合は、ケースから電話機を取り外してください。

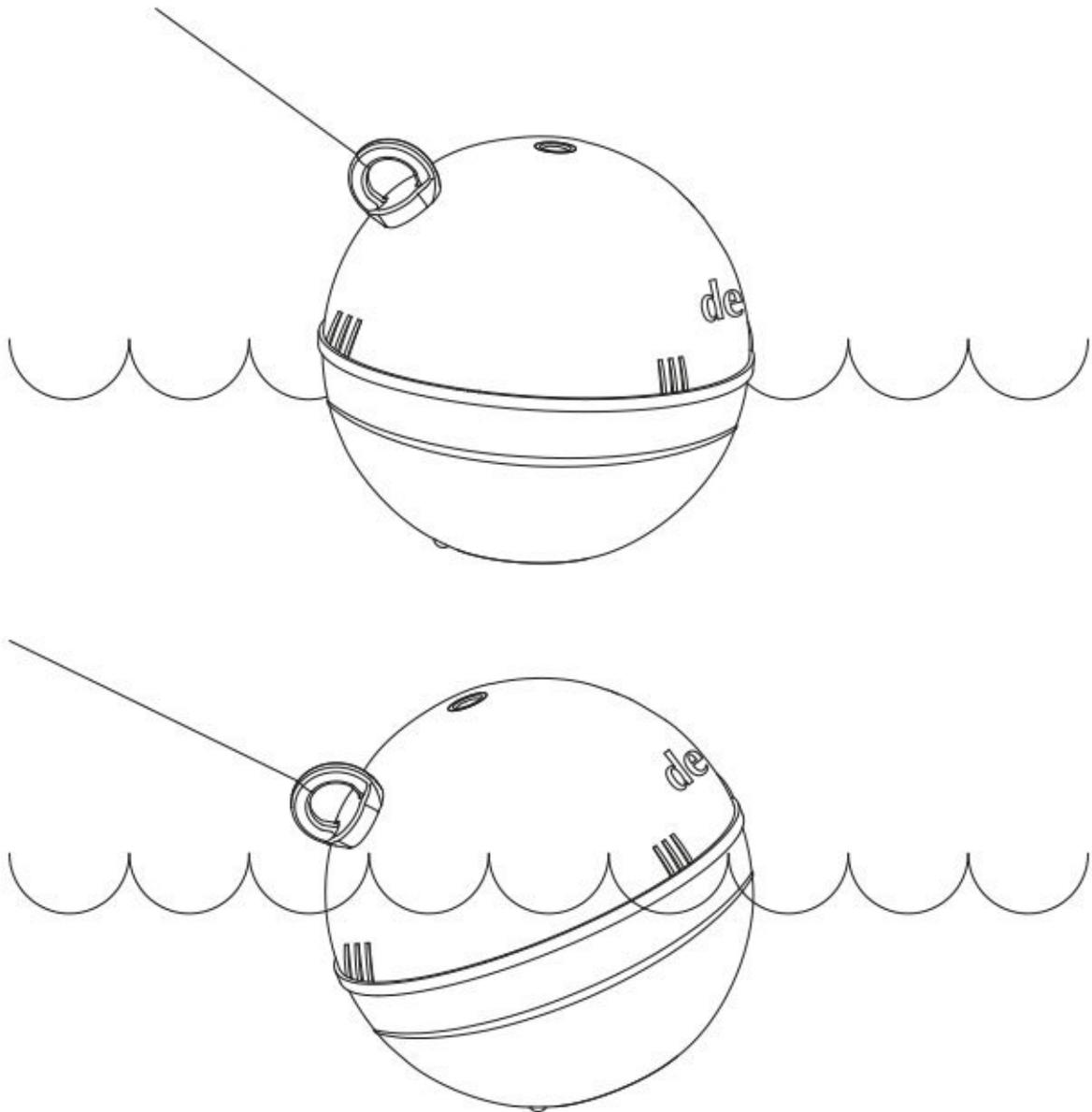
### **デバイスを正しくフローティング状態に保つ**

Wi-Fi信号は水を通り抜けられません。つまり、Deeperデバイスが水中に沈められているか、水をかぶってしまう状態の場合、Wi-Fi信号はあなたのスマートフォンやタブレットに届くことができないことを意味します。

PRO / PRO + / CHIRP + / 3.0モデルでは、岸釣りでは下のアタッチメントポイントを使用し、栈橋やドックからのキャストには中央のアタッチメントポイントを使用し、Deeperとラインをつなぎます。これによりあなたのDeeperが正しく浮かぶことができますでしょう。

DeeperPRO、PRO +、CHIRP +、または3.0を使用したボート/カヤック釣りの場合は、ボートの側面がDeeperとスマートフォンの間で信号を遮っていないことを確認してください。Deeperをマウントしている間、ボートは片側に傾くかもしれないことに注意してください。浮いてしまうと接続が切れるので、正しく配置されていることを確認してください。ボート釣りの際、正確なソナースキャンができるために推奨されるトロリング速度は最高時速5kmです。

Deeperソナーを巻き取る時は、ゆっくりと引き出すことで確実にスキャンできます。早く巻きすぎてDeeperが水をかぶると信号が遮断されるのでご注意ください。荒天時には、強い波があなたのDeeperデバイスを水没させ、Wi-Fi信号を妨害することがあります。



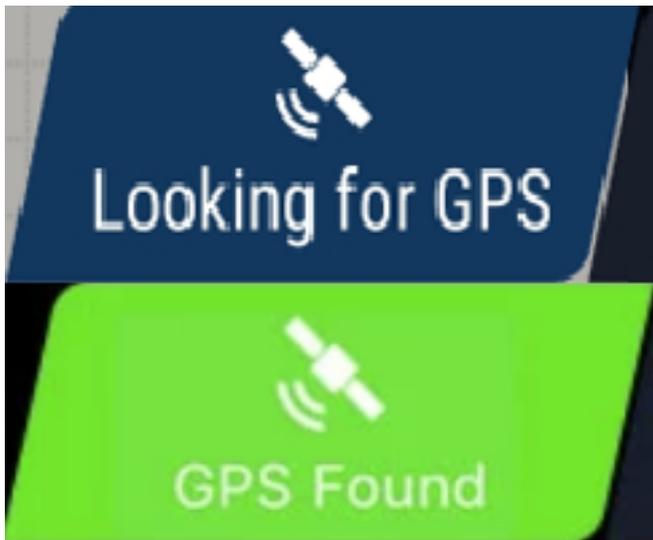
## GPSの接続と利用

### スマートフォン/タブレットGPS

Deeperアプリでは、スマートフォンやタブレットのGPSを使用して、ボートなどでのトロール時の水深マッピング、スキャンの位置情報の保存、GPSアイスホールマーキングなど、さまざまなマッピング機能を利用できます。これらの機能を使うときはあなたのスマートフォン/タブレットはあなたのDeeperから3フィート/1メートル以内にある必要があります。デバイスが離れていると、ソナーの測定値の位置情報が正しくなくなります。

### 内蔵GPS (DeeperPRO + / CHIRP +)

DeeperPRO + / CHIRP +はGPSが内蔵されています。これは、陸釣りGPSモードでは、マップを作成するときにDeeperがスマートフォンと同じ場所にある必要がないことを意味しているので、キャストしてマップが作成できます。



陸釣りGPSモードを選択しているときには、ステータスバーにGPSステータスが表示されます。

—GPSが捕捉されたというのは、あなたのDeeperの位置が特定され、マッピングを開始する準備ができたということです。

—GPSを探しているというのは、Deeperが衛星からの情報を処理中で、現在の位置情報が特定されていないか、マッピング開始に不十分であるということです。状態が変わらない場合は、以下のトラブルシューティングの指示に従ってください。

—「GPSを探しています」が「GPSを捕捉しました」というステータスに長い間変わらない場合は、Deeperが室内、屋根の下、ボートの中などにあるか、衛星との接続に遮蔽物があるか、周囲のものや地形によってGPS信号が遮断されている可能性があります（例えば、山の陰になっているなど）。もし、GPS信号をブロックするものがない場合、トラブルシューティングの手順に従ってください。

#### **陸釣りGPSモードでのGPS接続強度を最大化するために**

陸釣りGPSモードでお使いのときに、GPS接続をより安定し、強固にするためにいくつかのコツがあります：

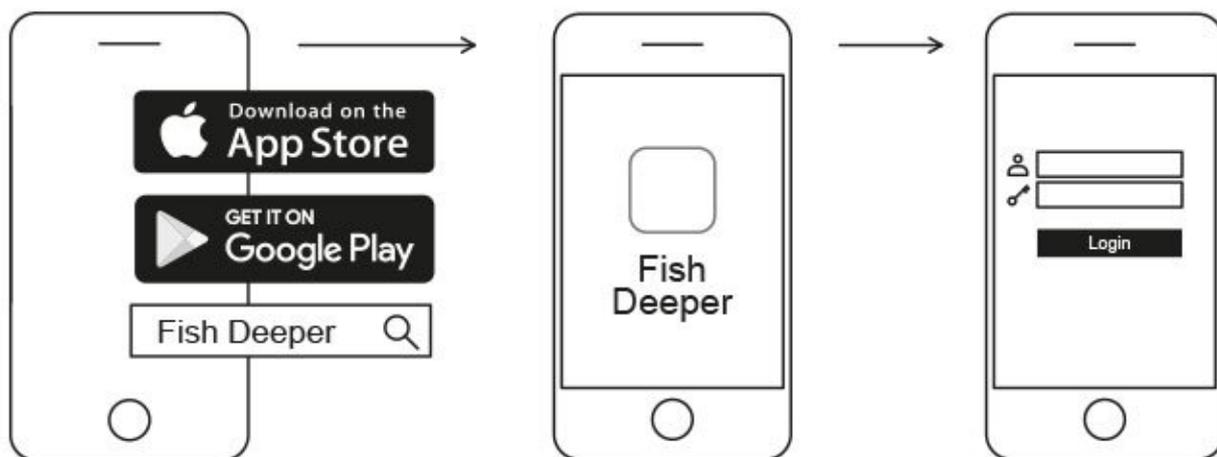
—Deeperが衛星との接続を安定させるため、少しの間巻き取らずにお待ちください。

Deeperの中のGPS受信器は地球の周りをまわっている衛星と接続しますが、衛星の状態などによっては少し時間が必要な場合があります。さらに、日や時間帯によっては利用可能な衛星数が異なるため、接続までの時間が日によって異なることもあります。GPS接続が弱い場合は、そのまま5~10分Deeperを水に浸けて、GPS接続が安定するまでお待ちください。

—GPSアイコンが緑色になっているかをご確認ください。DeeperとGPSの接続が安定すると、ステータスが「GPSを捕捉しました」に変わります。Deeperをキャストした後に、もう一度GPSステータスをご確認ください。もし「GPSを探しています」に戻ってしまった場合は、接続が安定するまで少しお待ちください。

—周囲の状況を確認します。GPSシグナルは天候や周囲の地形、障害物によって影響されることがあります。厚い雲がある場合、雨天の場合はGPSシグナルが弱くなります。また、枝や送電線などが上部にある場合もシグナルが弱くなります。

## Fish Deeperアプリをインストールする



1. スマートフォン、タブレットからAppストア/GooglePlayを開き、「Fish Deeper」と検索します。
2. FishDeeperアプリをダウンロードします。

①FishDeeperアプリはiOSかAndroidを搭載した幅広いデバイスで動作します。

## My Deeperアカウント

Deeperアプリ内でもアカウントを作成できます。Eメール、Google、Facebookの3種類からアカウントが作成できます。また、Deeper社のウェブサイト(<https://deepersonar.com>)からもMy Deeperのアカウントを作成できます。画面に表示される指示に従ってください。

### パスワードの変更の仕方

パスワードはDeeper社のウェブサイト(<https://deepersonar.com>)のMy Deeperページから変更できます。プロフィールをクリックし、アカウント管理メニューからパスワードを変更してください。

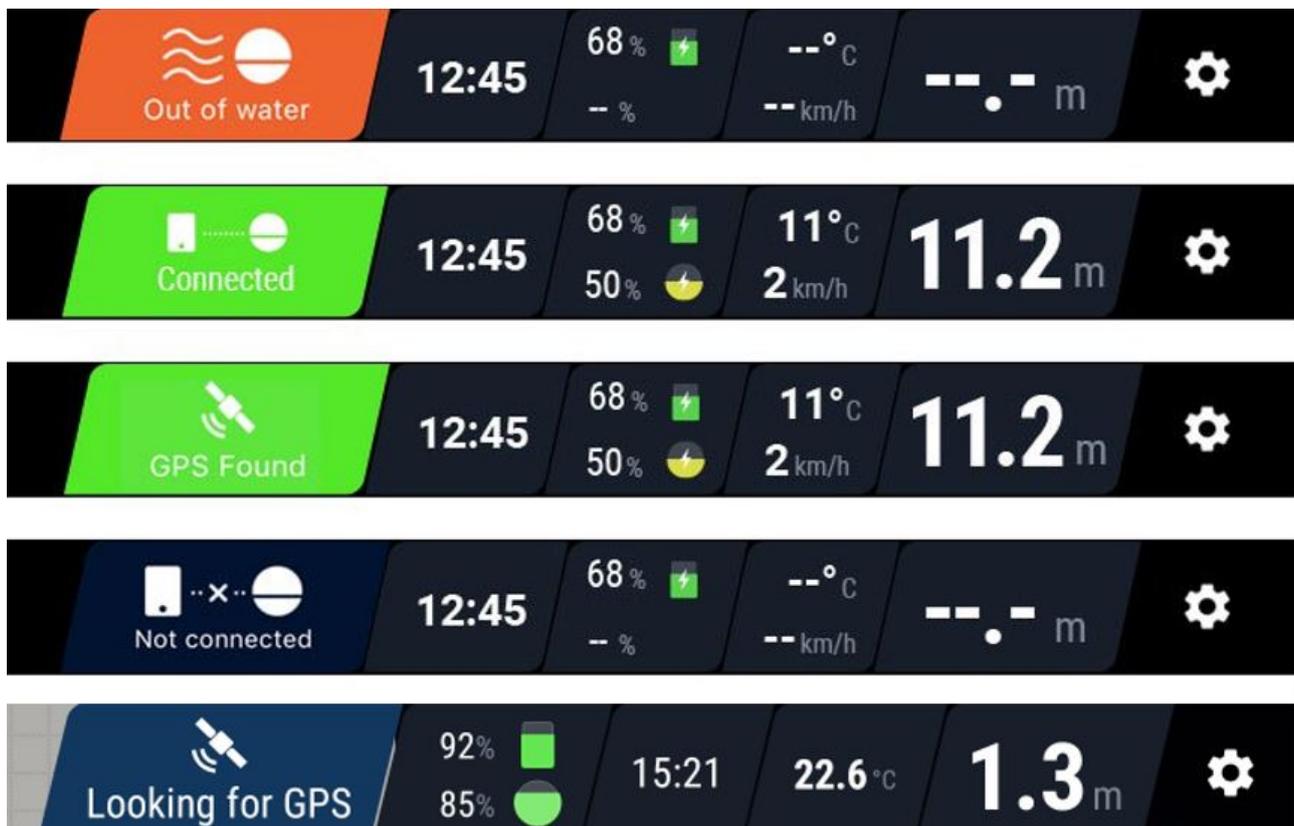
認証メールやパスワードリセットメールが届かないときにご確認いただきたいこと  
登録やパスワードリセットをすると、確認のEメールを受け取ります。こちらのEメールを確認することで登録やパスワードリセットが完了します。メールが届いていないと思われる場合には、スパムメール、迷惑メール、ゴミ箱フォルダをご確認ください。それでもメールが見つからない場合は、お手数ですがサポートチーム support@deeper.euまでご連絡頂ければ幸いです。

### アカウントの削除の仕方

ご自分のMy Deeperアカウントを削除したい場合は、Deeper社ウェブサイト (<https://deepersonar.com>)のMy Deeperのページに行き、プライバシー設定の項目から「My Deeperアカウントを削除する」をクリックしてください。

① 一度削除したアカウントは復旧することはできません。Deeperソナーを利用する際にはアカウントが必要となります

### ステータス・バー



右上にステータス・バーがあります。ステータス・バーでは、最も大切な情報を左から右に表示しています：ソナー・ステータス、時間、バッテリー残量などです。

**現在のステータス**（ステータス・バーの左側）－Deeperソナーの現在の状況を表示しています：

充電中-Deeperソナーは電源に接続されており、充電中です。

接続中-Deeperソナーがスマートフォンに接続されました。

接続されていません-Deeperソナーとスマートフォンの接続ができなかったか、中断されておりました。さらなる操作方法については[ここをクリック](#)してください。

水に浸かっていません-Deeperソナーが水に浸かっていませんが、接続は維持されています。

GPSが見つかりました-GPS接続と精度は水深マップを作成するのに十分な強度です。このステータスは陸釣りGPSモードでのみ表示されます（Pro+、CHIRP+モデルのみ）

GPSを探しています-DeeperとGPS接続を確立中です。このステータスは陸釣りGPSモードでのみ表示されます（Pro+、CHIRP+モデルのみ）GPS接続をより安定させるためのコツは[こちら](#)をご覧ください。

水深が浅すぎるか深すぎます - ソナーが音波を解読できません。一般的なケースでは水深が浅すぎるか深すぎます。Deeperのスキャン可能深度は；

**Deeper PRO, PRO+**

最小：ナロービーム 0.5m; ワイドビーム1.3m

最大：水深80m

**Deeper CHIRP+**

最小：

0.15 m. ナローCHIRP

0.6 m. ミディアムCHIRP

0.8 m. ワイドCHIRP

最大： 100 meters

**Deeper START**

最小：1.3m; 最大50m

**Deeper 3.0**

最小：ナロービーム0.5m; ワイドビーム1.3m

最大40 m

また、このメッセージはDeeperが傾いたままスキャンしている場合にも表示されます。また、コンクリートに囲まれた場所やバスタブ、プールなので使った場合にも表示される可能性があります。

**時刻**：現在の時刻を表示します。

**デバイスバッテリー**：スマートフォンとDeeperのバッテリー残量を表示します。

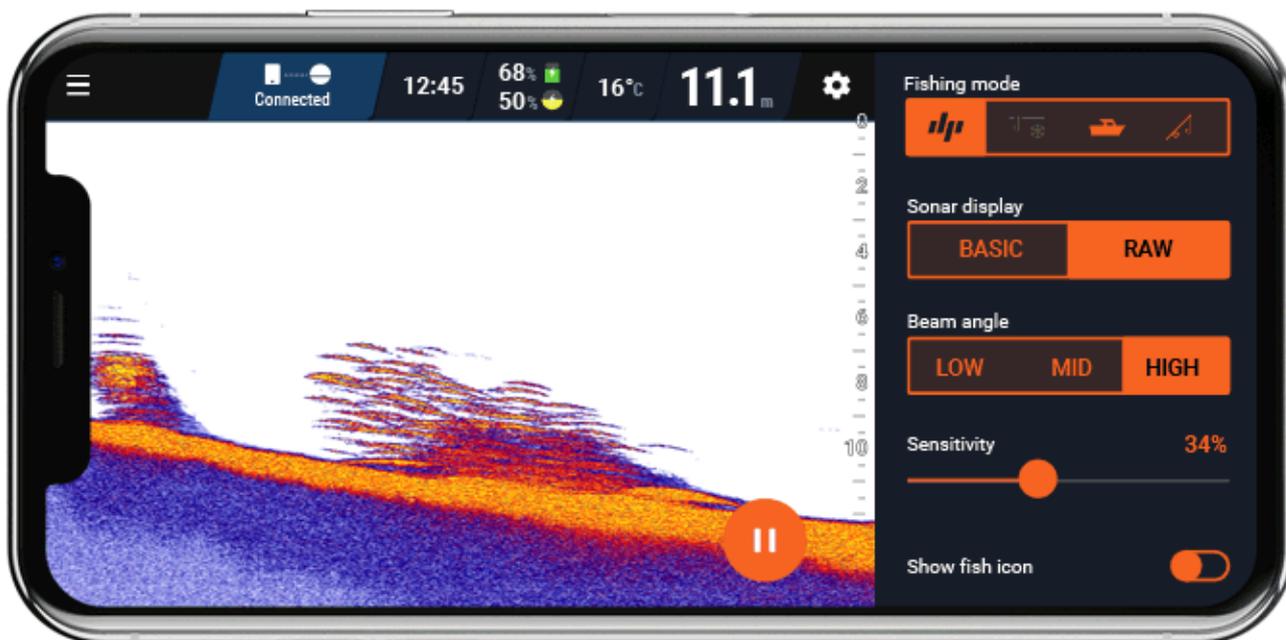
**水温と移動スピード**：水温とボートの移動スピードを表示します（ボートモード時。Deeper STARTはサポートされていません。）

**設定**-設定メニューを開きます。

## ソナー設定

右上のギアマークをクリックするとソナーセッティングの画面にアクセスできます。新しいメニューが開き、それぞれのDeeperのモデルで調整可能な設定が表示されます。右にスライドすることで、いつでもメニューを閉じることができます。

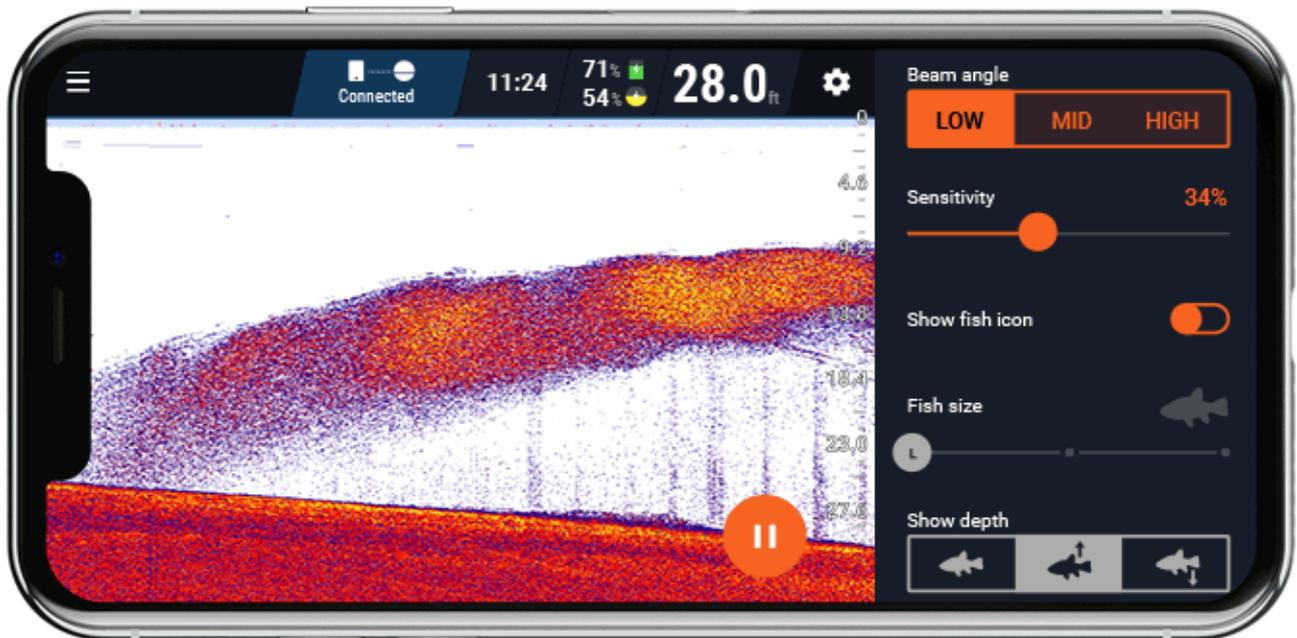
釣りモード-ソナーモードを選択してください。スタンダードモード、陸釣りGPSモード (Pro+,CHIRP+のみ)、ボートモード、アイスフィッシングモードこの設定はDeeper STARTではご利用になれません。



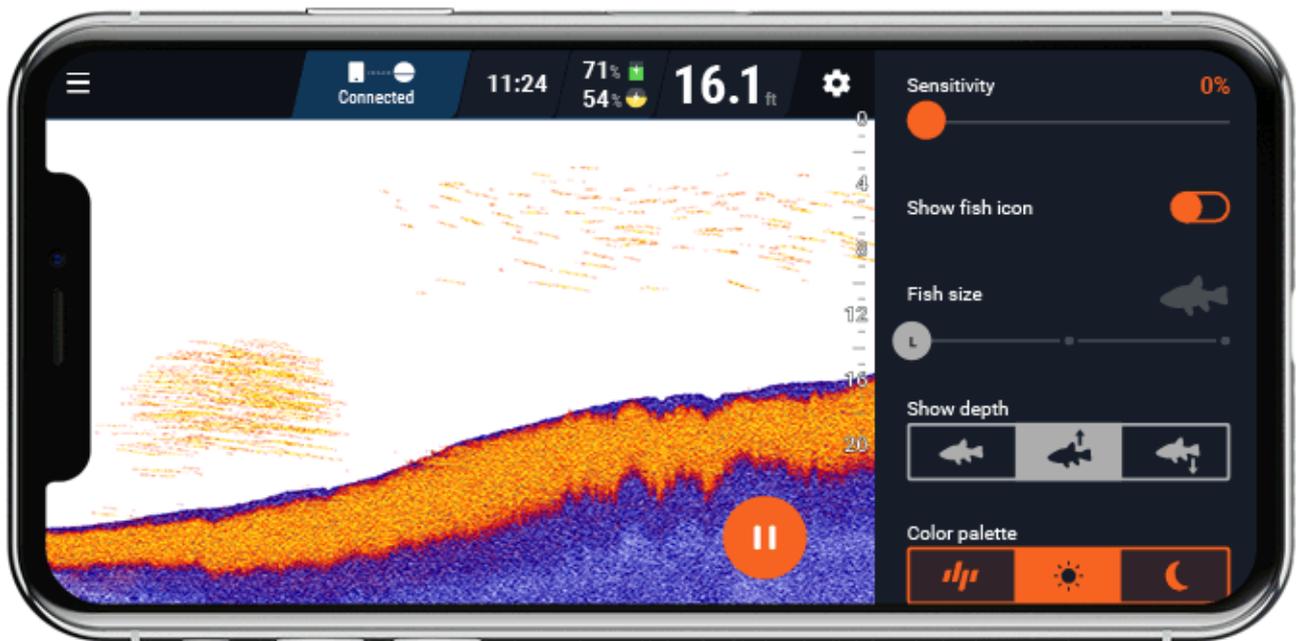
ソナーディスプレイ-詳細表示と基本表示を切り替えることができます。詳細表示では、スキャンデータのフィルタリング無しで細かいものまで表示します。基本表示では情報量をフィルタリングして、水底、水深、魚影のみを表示します。**Deeper STARTは基本表示のみとなっております。**



ビーム照射角-Deeperから発射される音波の照射角を切り替えられます。この設定はDeeper STARTではご利用になれません。



ディスプレイ感度 水深、透明度、底部の構造に応じて、感度を調整できます。汚れた水には低感度、清潔な水には高感度を使用してください。この設定はDeeper STARTではご利用になれません。

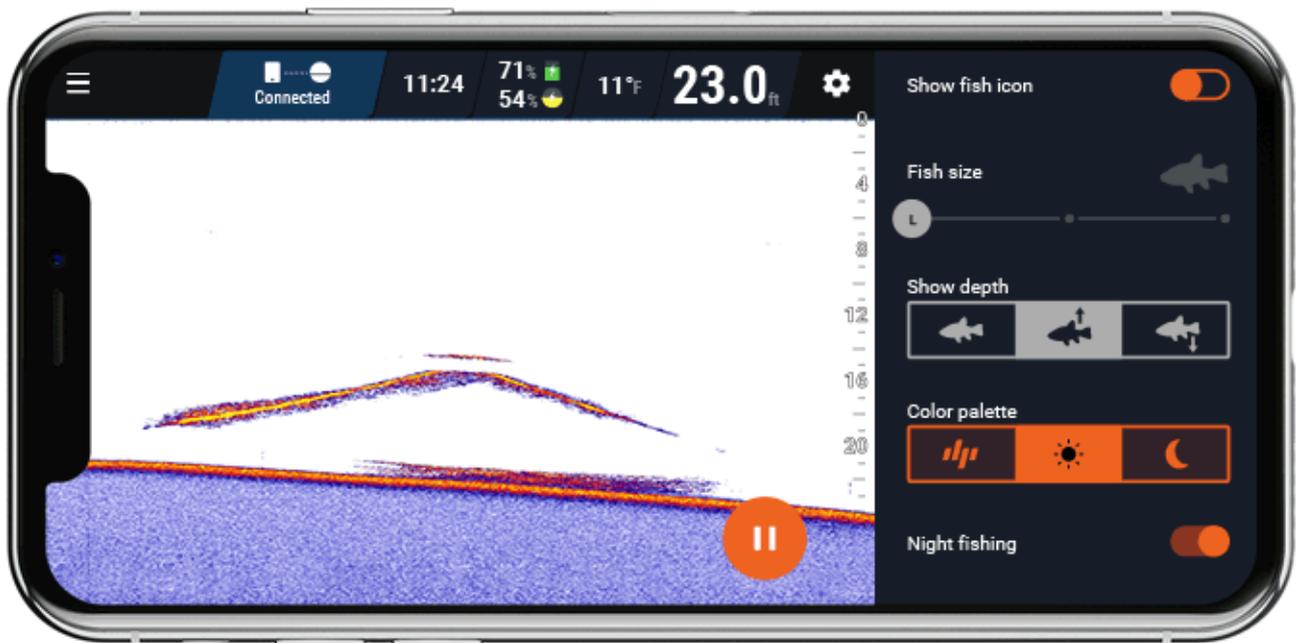


**フィッシュアイコン**-見やすくなるフィッシュアイコンのON/OFFを切り替えます。

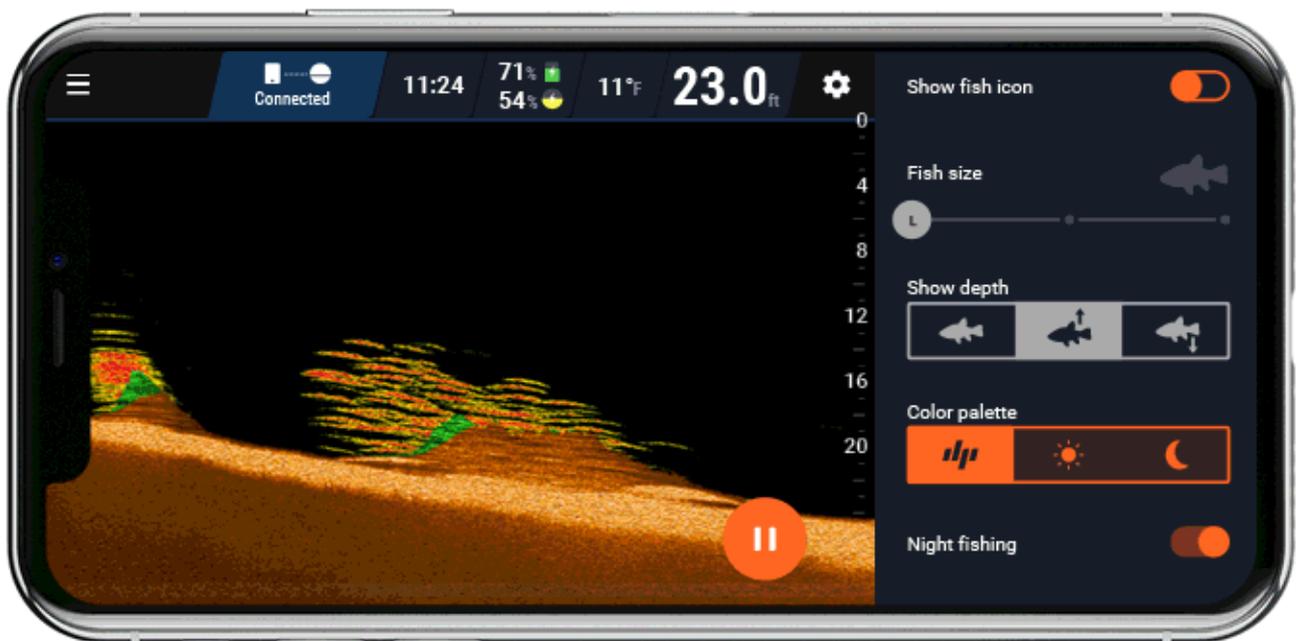
**フィッシュサイズ**-フィッシュアイコンがONの場合、ある程度の魚のサイズを反映させることができます（大/中/小）スライダーで調節することで、そのサイズの魚を表示するかを変更できます。大/中/小を選択すると3種類の大きさのアイコンが表示され、大/中を選択すると大きな魚と中くらいの魚のみを表示、大のみだと大きな魚のみが表示されます。**この機能はフィッシュアイコンがONの時のみ機能します。**

**水深を表示する**フィッシュアイコンの上下にその魚のいる水深を表示するか表示しないかを選べます。魚の水深を水面からの距離（↑）で表示するか、水底からの距離（↓）で表示するかを選べます。**この機能はフィッシュアイコンがONの時のみ機能します。**

**フィッシュアラーム**魚が探知されたときに音でお知らせするフィッシュアラームのON/OFFを選べます。**この機能はフィッシュアイコンがONの時のみ機能します。**

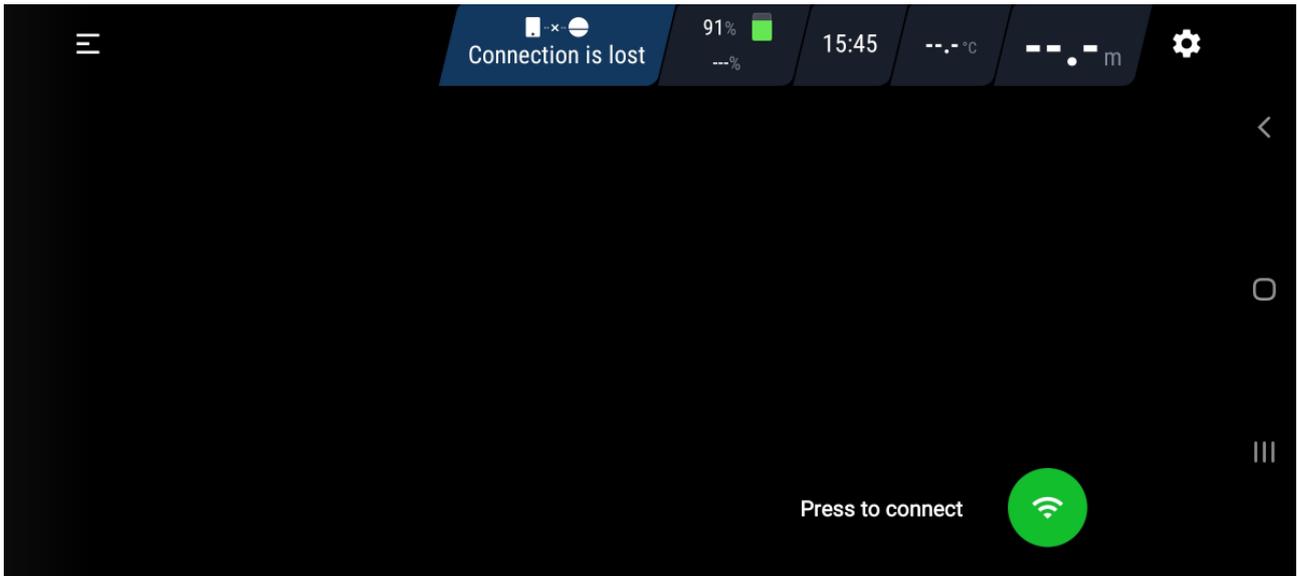


画面の色パレットモードでは、環境、状況、釣りをしている時間帯に基づいて、ソナーデータを表示するための最も便利なカラーパレットを選択できます。クラシックカラーパレットの他に、昼と夜の2つのオプションがあります。これは、明るい晴天時（昼モード）または暗い時（夜モード）のどちらでも、ソナーの測定値を最もよく表示するために使用できます。この設定は、Deeper STARTには使用できません

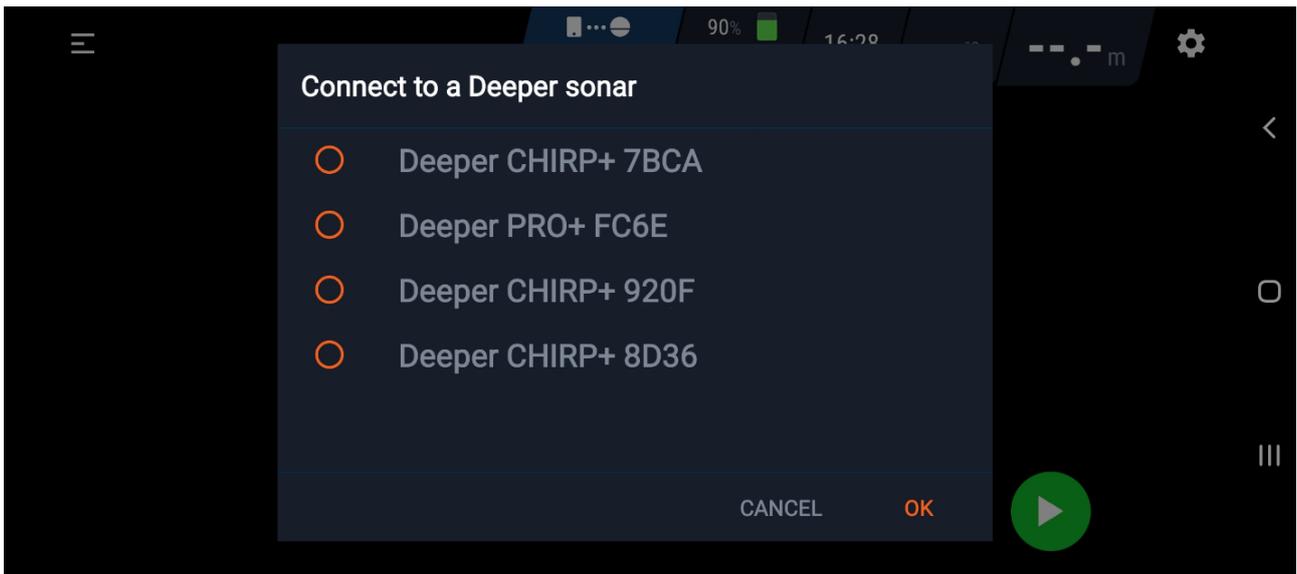


「夜釣りモード」をオンにすると、夜間または暗い状態で釣りをするときに役立ちます。DeeperSTARTでもこの機能はすぐに動作させることができます、一方、DeeperPRO、PRO +、CHIRP +と3.0モデルではまず半透明のDeeper夜釣りカバーと取り替える必要があります。夜釣りモードになると、透明なカバーを通してしか見えない点滅ライトが作動します。

## 接続と再生

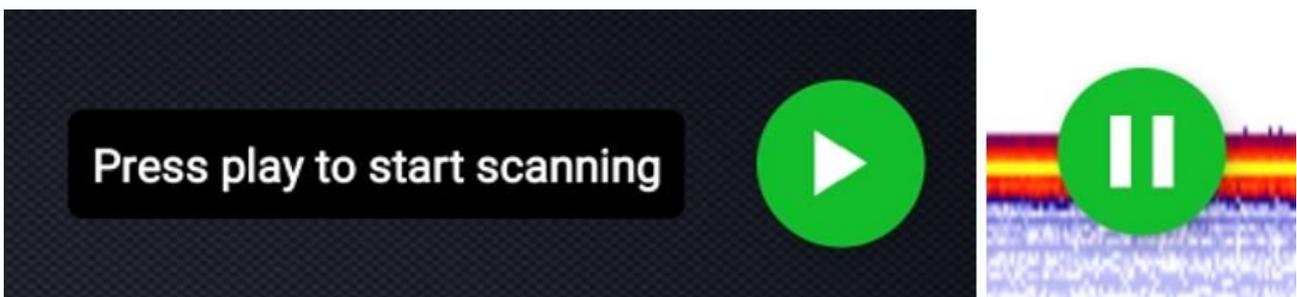


接続ボタンはメインスクリーンの右下に表示されます。このボタンはDeeperの接続操作とデータ再生するときに使用します。



Deeperソナーと接続するときにはこのボタンを押してください（Deeperが水に触れるか、電源に接続して起動していることが必要です）。

Deeperソナーと接続したら「接続」ボタンは「スタート/ポーズ」に自動で変わります。



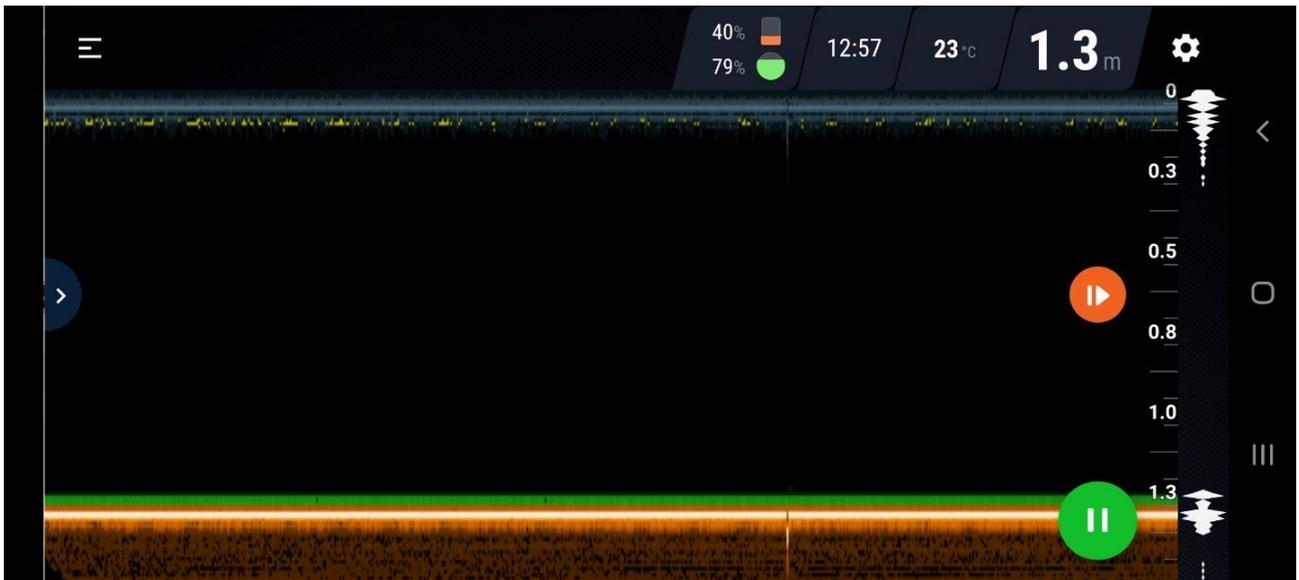
「スタート」を押して、スキャンを開始します。「ポーズ」ボタンを押すと、Deeperはスキャンを停止し、節電モードに入ります：

節電モードのときはWi-Fi接続は維持されますが、スキャンを行わず、データをとらないため、バッテリーを節約できます。いつでもスキャンを再開できます。

### 巻き戻し

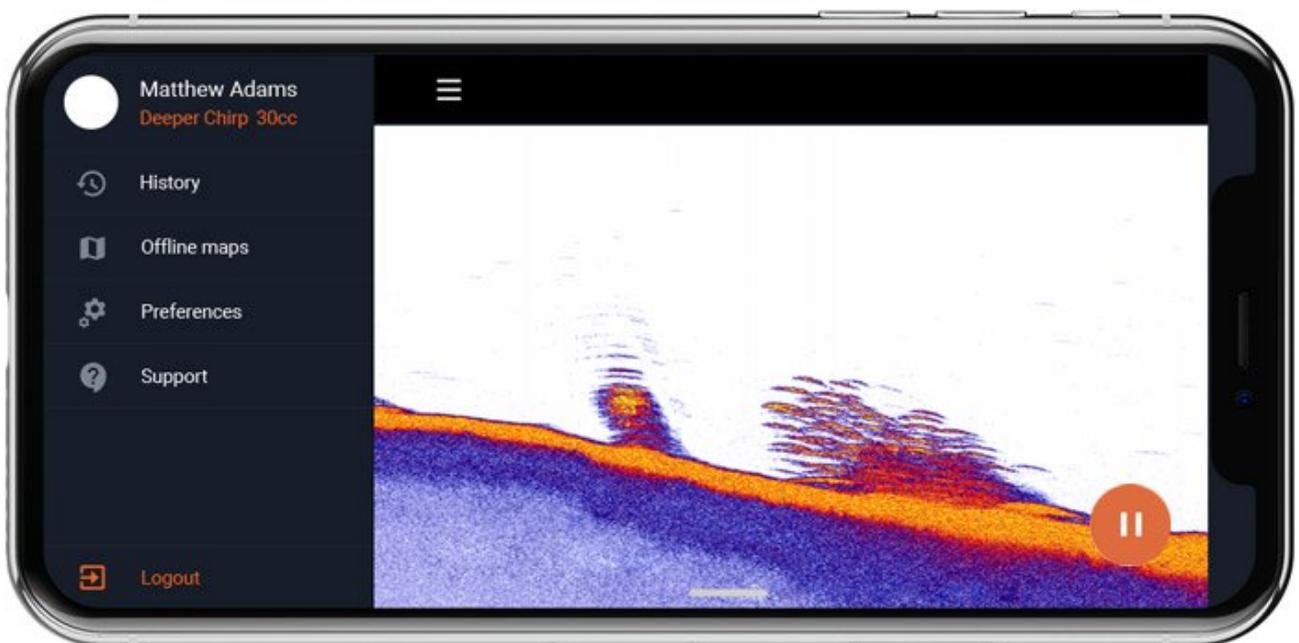
Deeperソナーがスマートフォンに接続され、スキャンしているときに、画面を押して左にスライドさせることでいつでも**巻き戻す**ことができます。何かを見逃したり、少し前のスキャンを見たいときに役立つ機能です。

巻き戻しているときに表示される矢印を押せば、最新のスキャン結果まで戻ります。



### その他の設定

画面の左上にあるメニューアイコンを押せばその他の設定画面に進むことができます。

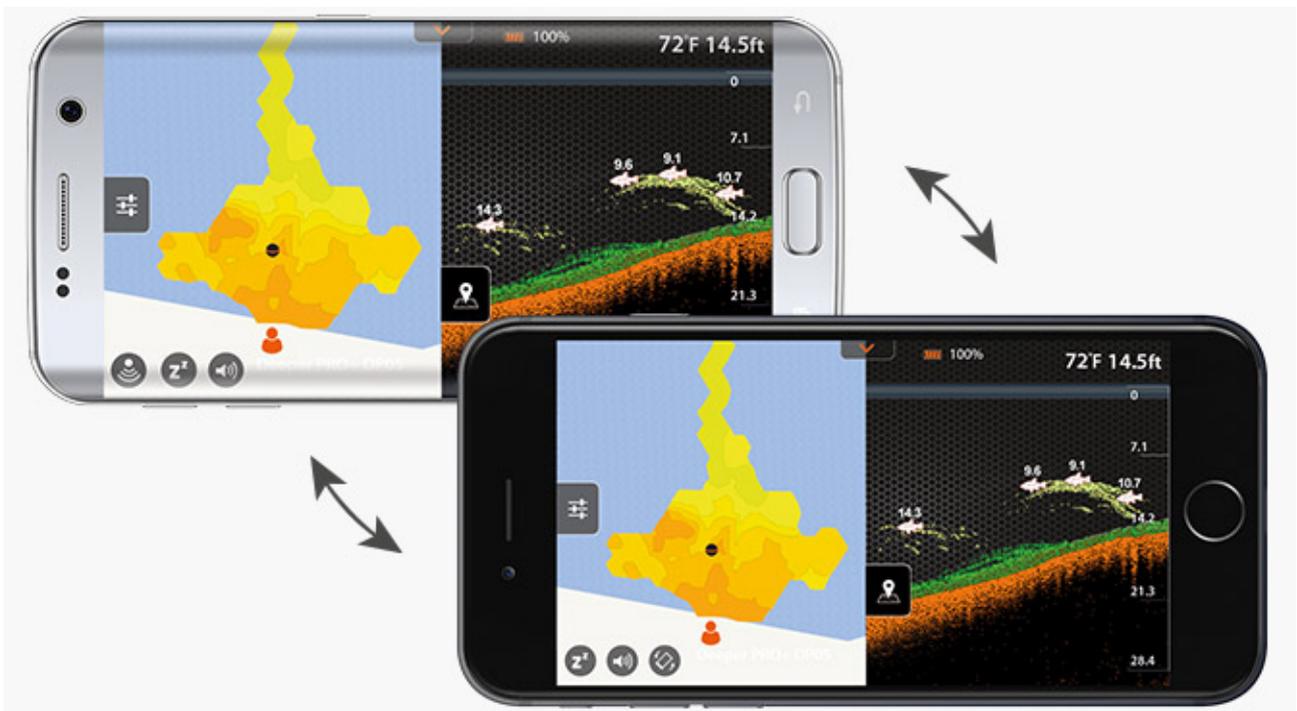


**履歴**-すべてのスキャンが履歴に保存されています。すべてのデータが制限なく保存されます。すべてのデータはスキャンの初めから終わりまでスクロールができます。またスキャンした日付や時刻、スキャン時間や使用したソナーモードの記録も残っています。

**オフラインマップ**-オフラインで使えるマップをダウンロードするオプションです。マップは国、地域ごとに並んでいます。リストからマップをダウンロードしたら、インターネットがない状況でもボートモード、陸釣りGPSモード時にいつでもマップにアクセスできます。

**お好み設定**-時間表示（24/12時間表示）、長さの単位表示などを設定できます：メートル単位（m、°C）、帝国単位（フィート、°F）、ファゾム単位（フレンチスケール、°F）、混合単位（フレンチ、°C）

## データを同期する

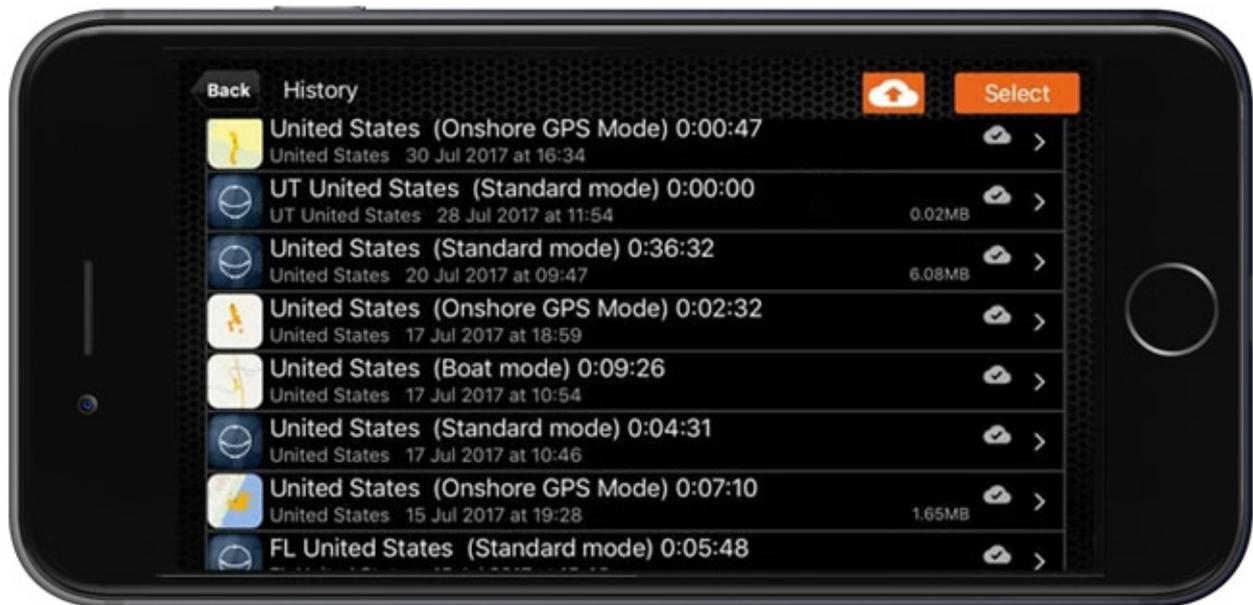


Deeperで行ったすべてのスキャンは安全なクラウドサーバー上にバックアップすることが可能ですので、とても便利です。

- android、iOS搭載デバイスでDeeperアプリを開き、アカウント設定から、ご自分のIDでDeeperアカウントにログインします。
- Lakebookウェブポータルにアクセスすれば、任意のコンピュータ上であなたのスキャンとあなたの地図の履歴を見ることができます。
- クラウドサーバーにアップした履歴はスマートデバイスからは削除できるので、空き容量を増やすことができます。データはDeeperクラウドサーバーに残るので安心です。
- 新しいスマートフォンを購入したときなど、新しいデバイスでも同じアカウントでログインすれば既存のスキャンをすべて取得することができます。

新しく作成した地図やスキャンはクラウドサーバーと自動的に同期されますが、すぐには行われな可能性がります。

履歴にチェックマークの付いたクラウド（雲）アイコンがある場合、それはすでに同期されています。クラウドアイコンの外枠しかない場合は、まだ同期されていません。



これらのセッションをすぐにアップロードするには、履歴モードになっているときに、画面右上のアイコン（上向きの矢印が付いた雲）をクリックします。同期するときは、携帯電話が安定したインターネットネットワークに接続されていることを確認してください。同期されていないデータはあなたの電話でのみアクセス可能で、他のデバイスやLakebookからはアクセスできません。

データが同期されると、保存方法に関してより柔軟になります。データを保持する方法には、主に2つの選択肢があります。

- 同期済み - このタイプのデータは、携帯電話とDeeperクラウドサーバーの両方に保存されます。それはあなたのスマートフォンとDeeperアプリを使用している他のどの装置を通してアクセスすることができます。地図やスキャンはLakebookでも見ることができます。同期されたデータはどのデバイスからもアクセス可能で、地図やスキャンはLakebookで見ることができます。
- リモート - このタイプのデータは当社のクラウドサーバーにのみ保存されます。Deeper Appからすぐにアクセスすることはできません。お使いの携帯電話、その他のAndroidまたはiOSデバイスで表示する場合は、まずDeeper Appを通じてクラウドからダウンロードする必要があります。リモートデータとして保存された地図やスキャンは、Lakebook Webポータルで引き続き表示できます。

スキャンはデフォルト設定ではサーバーに同期されて保存されます。セッションをリモートデータに変換するには、削除アイコンを選択してから[アプリからのみ削除する]オブ

ションを選択します。履歴の釣行の項目で長押しすると（またはAppleデバイスを使用している場合は左にスライドさせると）、削除アイコンが表示されます。同期されて保存されたスキャンはアプリ内で通常どおりに表示されますが、リモートデータは灰色のアウトラインとしてのみ表示されます。

## リアルタイムモード：詳細スキャン（PROシリーズ）



**水底：**詳細スキャンに設定すると、水底が硬いのか柔らかいのかを判断するのに役立ちます。Deeperから送信されたソナーパルスが底部で反射されると、硬い底部は柔らかい底部よりも強い信号を返します。

クラシックスクリーンカラーモードを使用している場合、水底はオレンジ（硬い下）、茶色（中）、黒（柔らかい）で表示されます。水底はほとんどの場合水中で最も強いシグナルリターンを与えます。したがって、最も濃い色になります。水底は、画面の下部を横切って連続した濃い色の線として表示されます。

**二次反射：**また、水底の画像に二次反射を見るかもしれません：これは、ソナーシグナルが底と水面の間で跳ね返り、そしてまた戻ったときに起こります。硬い水底は強いセカンドリターンを示しますが、柔らかい水底は非常に弱いものを示すか、まったくありません。

**フィッシュアイコン：**フィッシュアイコンは3つの異なるサイズで表示されます。魚の大きさによる分類は多くの変数に依存しますが、体重はそのうちの1つだけです。これは、魚のアイコンが必ずしも実際の魚のサイズを正確に反映していないことを意味します。魚の実際のサイズをより正確に判断したい場合は、[詳細スキャン]を選択し、[魚アイコン]のチェックを外します。魚を識別することは最初は難しい場合がありますが、詳細設定から生データを見て、経験を積むことで魚のサイズをかなり正確に判断することができます。このトピックに関する詳細はこちらをご覧ください。

**水面：**画面の上部に沿って、強い色のグループを含む青い水面線が表示されます。この領域は水面上の波または他のソナー干渉によって引き起こされることがある表面クラッターです。表面クラッターは、ソナーが魚や水中の物体を感知しないような盲目のゾーンです。

表面クラッタの長さは、使用されるビーム角度と周波数によって異なります。周波数が高いほど、表面の乱雑さは小さくなり、奥行きは浅くなります。

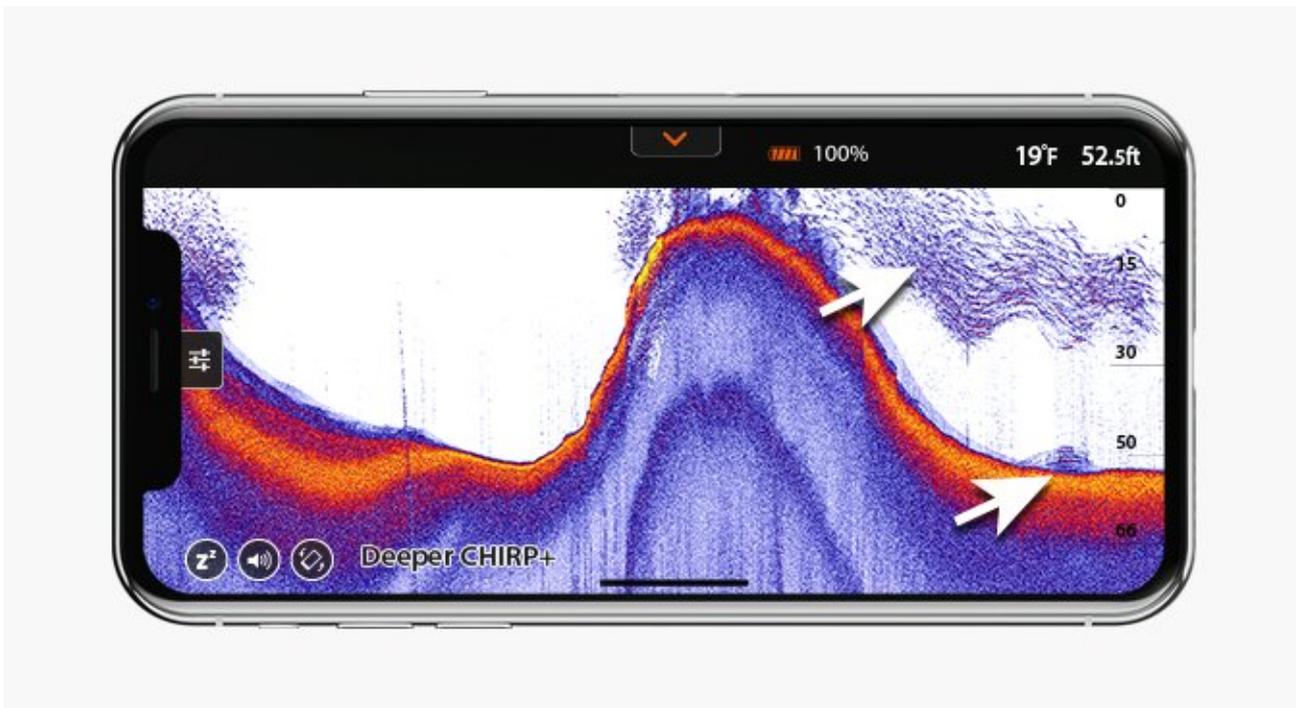
ナロービーム（290 kHz）は、水面から0.5 m（2フィート）まで伸びる表面クラッターゾーンを持ちます。その地域では魚や水中の物体は検出されません。実際の水深が0.5m（2フィート）未満の場合、Deeperソナーは「浅すぎるまたは深すぎる」というエラーメッセージを表示します。

ワイドビーム（90 kHz）は1.3 m（4.3 フィート）の表面クラッターゾーンを持ち、その領域の魚を検出しません。実際の水深が1.3m（4.3フィート）未満の場合、Deeperソナーは「浅すぎるまたは深すぎる」というエラーメッセージを表示します。

**ウィード：**ウィードや植物のベッドと植生は緑色で表示されます。

**ベイト（小魚）の群れ：**Deeperソナーはベイトの群れをはっきりと表示します。そして、ほかとは区別できる形と大きさの雲として表されます。正確な外観は、魚の数、およびトロリングをしている場合のボートの速度によって異なります。

## リアルタイムモード：詳細スキャン（CHIRP+）



**水底：**詳細スキャンに設定すると、水底が硬いのか柔らかいのかを判断するのに役立ちます。Deeperから送信されたソナーパルスが底部で反射されると、硬い底部は柔らかい底部よりも強い信号を返します。

ディスプレイカラーモードを使用している場合、水底は黄色（一番硬い）、赤（中）、そして青（一番柔らかい）で表示されます。水底は水中でもっとも強い反射を示すからで

す。したがって、最も濃い色になります。下部は、画面の下部を横切って連続した濃い色の線として表示されます

**二次反射**：また、水底の画像に二次反射を見るかもしれません：これは、ソナーシグナルが底と水面の間で跳ね返り、そしてまた戻ったときに起こります。硬い水底は強いセカンドリターンを示しますが、柔らかい水底は非常に弱いものを示すか、まったくありません。

**フィッシュアイコン**：フィッシュアイコンは3つの異なるサイズで表示されます。魚の大きさによる分類は多くの変数に依存しますが、体重はそのうちの1つだけです。これは、魚のアイコンが必ずしも実際の魚のサイズを正確に反映していないことを意味します。魚の実際のサイズをより正確に判断したい場合は、[詳細スキャン]を選択し、[魚アイコン]のチェックを外します。魚を識別することは最初は難しい場合がありますが、詳細設定から生データを見て、経験を積むことで魚のサイズをかなり正確に判断することができます。このトピックに関する詳細はこちらをご覧ください。

**水面**：画面の上部に沿って、強い色のグループを含む青い水面線が表示されます。この領域は水面上の波または他のソナー干渉によって引き起こされることがある表面クラッターです。表面クラッターは、ソナーが魚や水中の物体を探知しないような盲目のゾーンです。

表面クラッタの長さは、使用されるビーム角度と周波数によって異なります。周波数が高いほど、表面の乱雑さは小さくなり、奥行きは浅くなります。

ナロー CHIRP (675 kHz) を使用すると、表面クラッターゾーンは水面から0.15 m (0.5 ft) までです。そのエリアでは魚や水中の物体は検出されません。実際的水深が0.15m (0.5フィート) 未満の場合、Deeperソナーは「浅すぎるまたは深すぎる」エラーメッセージを表示します。

ミディアムCHIRP (290 kHz) は、0.6 m (2 ft) の表面クラッターゾーンを持ち、その領域の魚や水中の物体を検出することはありません。

ワイドCHIRP (100 kHz) は0.8 m (2.6 ft) の表面クラッターゾーンを持ち、その領域内の魚や水中の物体を検出しません。

**ウィード**：ウィードのベッドと植生は緑色で表示されます。

**ベイトの群れ**：Deeper CHIRPはベイトの魚の群れをはっきりと表示します。その他のオブジェクトとは異なる形と大きさの雲として表されます。正確な外観は、魚の数、およびトローリングをしている場合のボートの速度によって異なります。

## 詳細スキャンモードでどのように魚を見つけるか？（PROシリーズとCHIRP +）

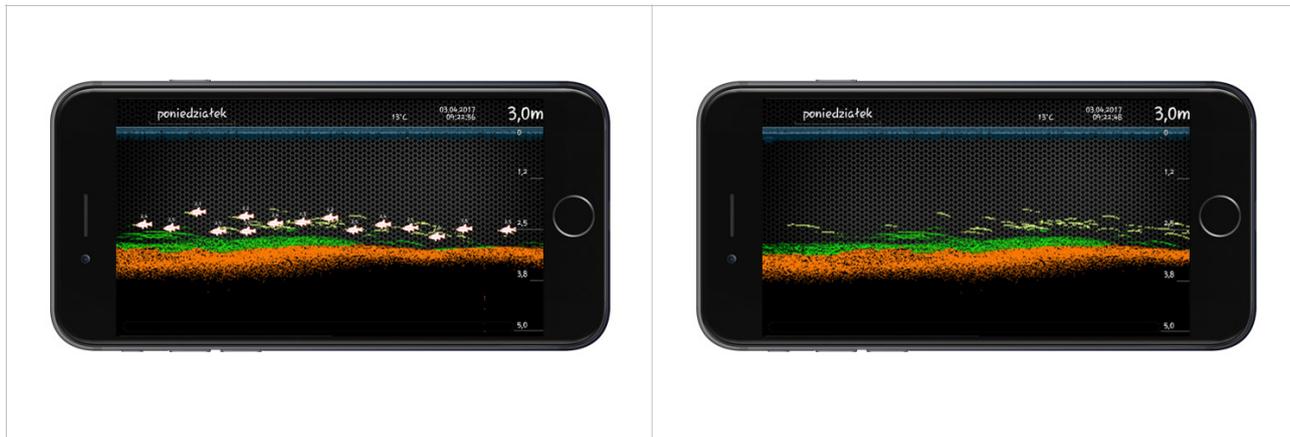
Deeperアプリで魚が表示されるには2つの方法があります。最も簡単な方法は、魚アイコンをオンにすることです。アプリはソナーのスキャンを解析し、それらのいくつかを魚として識別します。魚のアイコンは大、中、小3つのサイズがあります。魚とその大きさを識別するには多くの変数に左右され、魚の重さはそのうちの1つにすぎません。魚のアイコンは、魚のサイズを判断するための最も正確な方法ではありません。実際には実際に数匹の小さい魚がいる場合、アルゴリズムは1つ大きな魚を表示する可能性があるためです。魚のサイズを判断する最も正確な方法は、フィッシュアイコンをオフにすることです。魚アイコンをオフにして生データを見ると、魚はアーチまたは線として表示されます。魚を見つけるこの方法には経験が必要で、最初は混乱するかもしれません。しかし、練習すればあなたはどれが魚で、それがどれくらいの大きさであるかを判断することができます。以下では、魚を検出するこの方法の詳細なガイドを見つけることができます。

### PROシリーズで魚や水中の物体を見つける

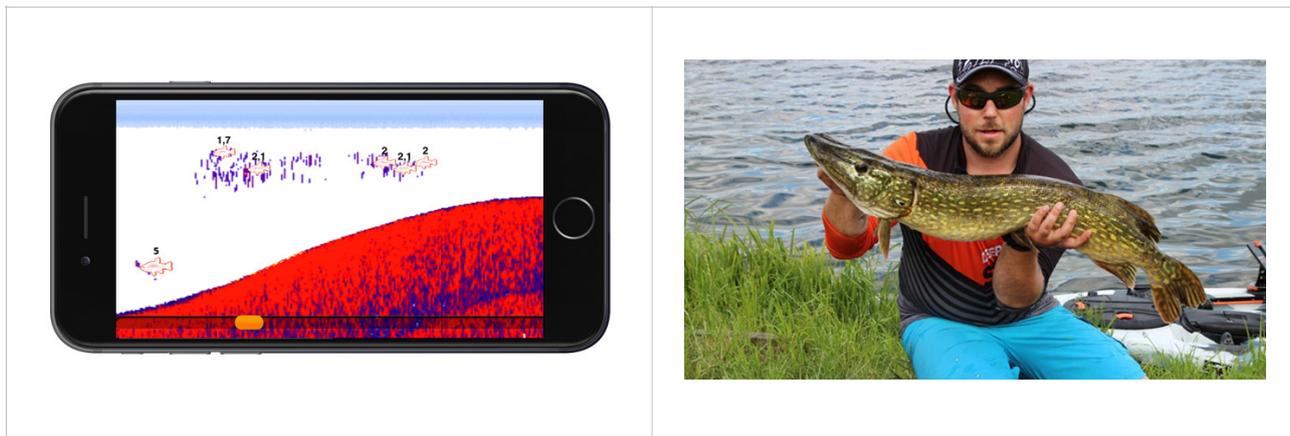
### CHIRP +で魚や水中の物体を見つける

#### スキャン画面上の魚影の例

魚のアイコンがオン、オフの場合のたくさんの小さなベイトの魚の群れ



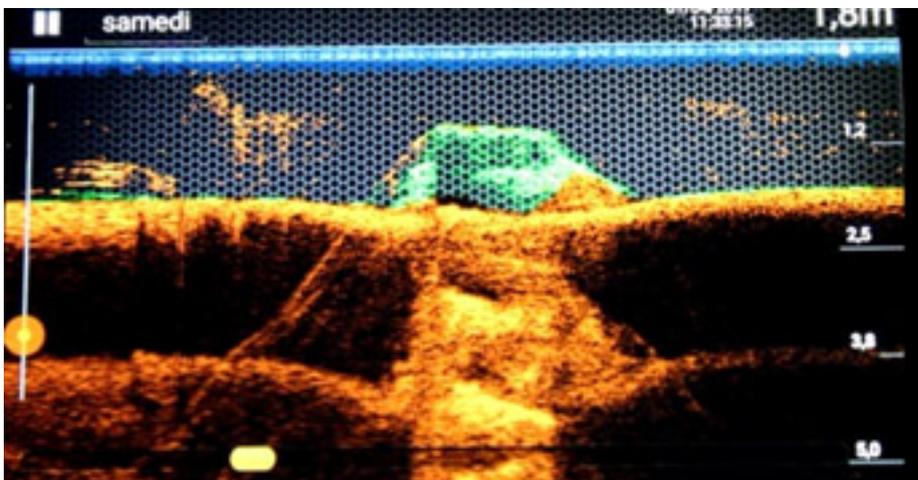
小さな魚のアーチが並んで見えますが、サイズが小さいのは感度が低いためです。実際には、魚はもっと大きかった。



アプリに表示される魚影と実際の鯉



水中の車



## アイスフィッシング（穴釣り）モード（PROシリーズとCHIRP +）



Deeperソナーは耐寒性があり、冬場のコンディションでも使用できるように設計されています（これにはDeeper STARTは含まれません）。

アイスフィッシングモードの標準画面には、氷の下の状況を監視するための伝統的なフラッシャーディスプレイがあります。また、右側に表示される垂直フラッシャーを使用すると、最小ルアーやベイトの動きもリアルタイムで追跡できます。

分割画面表示では、1つの画面にリアルタイムスキャンとフラッシャーの両方の表示が表示されます。リアルタイム画面ではDeeperからのデータを見ることができて、ルアーまたはベイトの動きと魚影を含むあらゆる水中の動きを把握できるでしょう。また、左側のメニューの詳細設定からズーム機能をオンにすることもできます。

ズーム機能を使用すると、垂直フラッシャーの特定の深度に焦点を合わせることができ、ズーム領域を拡大または縮小することができます。これにより、さらに優れたリアルタイム追跡が可能になります。これはあらゆる水中活動をモニタリングし対応するための非常に正確なツールです。魚を見つけた場合は、ズーム機能を使用して深度を最大化表示してから、ルアーや餌でターゲットを絞ります。



**GPSアイスホールマーキング**：DeeperアプリはGPS機能を使ってアイスホールの位置を地図上に記録して保存します。あなたが場所を変えて釣りをするたびに新しい場所があなたの地図上にマークされます。その場所でDeeperがスキャンしたデータも保存されます。つまり、あなたが釣ったすべての穴の詳細な記録を得ることになるでしょう。同じ場所で次に釣りにするときに再び使うことができます（地図はオフラインで利用可能です）。この機能では、携帯電話やタブレットのGPSを使用しているため、最初にDeeperを浮かべるときは、スマートデバイスが釣りをする氷の穴のできるだけ近くにあることを確認してください。数秒後にあなたの位置がマークされます、その後で、電話を遠ざけることができます。

## ボートモード（PROシリーズとCHIRP +）

フレキシブルアームマウントを使用すると、Deeperソナーをボート、カヤック、フロートに簡単に取り付けることができます。ボートモードで釣りをするときは、トロールしながら釣り場の等深線マップを作成できます。

ボートモードで動作しているとき、DeeperアプリはあなたのスマートフォンやタブレットのGPSに接続し、スクリーンの左側にリアルタイムの等深線マップを作成します。ボートモードで作成するマップが正確であるために、Deeper Sonarがスマートフォンやタブレットの近くにあることを確認してください。

等深線マップは自動的に保存され、後でアプリの[履歴]セクションでアクセスできます。データはLakebookウェブポータルアカウントにもアップロードされます。

1. この機能を使用するには、Boat Modeをオンにします（「設定」→「探知機モード」）。

2. マッピング機能を使用すると、水底構造と深さを即座にモニタリングし、最適なポイントを見つけることができます。
3. 地図上の白い線はGPS記録を示し、色分けされた等級はあなたがマッピングしている深さと水中の輪郭を表します。
4. データはすべて保存されているので、トップメニューバーにある履歴機能から見るすることができます。

①ボート釣りでマップを作成するためには、あらかじめオフラインマップをダウンロードしてください（設定メニューにオフラインマップがあります）。オフラインマップをダウンロードしていない場合、Deeper Appはモバイルデータを地図情報に使用するため、接続の問題やモバイルデータ料金が発生する可能性があります。

①すでにマップを作成したエリアで再びスキャンした場合は、以前の水深スキャンが地図に表示されます。

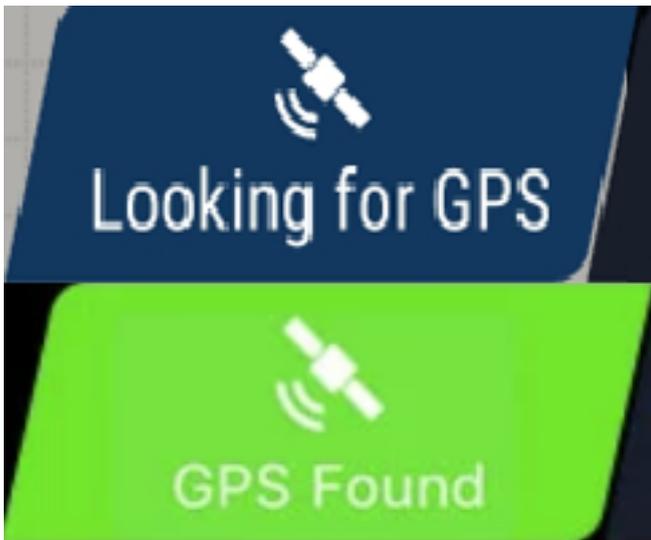
①あなたは新しい場所をスキャンするか、一番好きな場所に戻ることができます。また、地図上の色付きの水底地形をダブルクリックすると、その場所の深さに関する情報が得られます。

## 陸釣りGPSモード（PRO +およびCHIRP +モデルのみ）



### 陸釣りGPSモード（PRO +およびCHIRP +モデルのみ）

DeeperスマートソナーPRO +とCHIRP +は、内蔵GPSによって陸釣りからキャストするときにも水底の等深線マップを作成することができます。陸釣りGPSモードはボートモードと同じように機能しますが、スマートフォンのGPSではなくDeeperPRO +またはCHIRP +の内蔵GPSを使用します。陸釣りGPSモードでは、画面上部にGPSステータスアイコンが表示されます。



—GPSを捕捉しましたは、あなたのDeeperの位置が特定され、マッピングを開始する準備ができたということです。

—GPSを探していますというのは、Deeperが衛星からの情報を処理中で、現在の位置情報が特定されていないか、マッピング開始に不十分であるということです。もしステータスが変わらない場合は、トラブルシューティング手順に従ってください。

—「GPSを探しています」が「GPSを捕捉しました」というステータスに長い間変わらない場合は、Deeperが室内、屋根の下、ボートの中などにあるか、衛星との接続に遮蔽物があるか、周囲のものや地形によってGPS信号が遮断されている可能性があります（例えば、山の陰になっているなど）。もし、GPS信号をブロックするものがない場合、トラブルシューティングの手順に従ってください。

①内蔵GPSの性能は、気象条件、風景の特徴、衛星の配置によって異なります。高圧電線の近くでは正しく動作しないこともあります。

## メンテナンス

### 製品寿命を延ばすために

•Deeperアプリが常に最新のものであることを確認してください。最新バージョンがインストールされているかどうか分からない場合は、Google PlayストアまたはApp Storeにアクセスして、新しいバージョンのDeeper Appへの更新があるかどうかを確認してください。

•最新のアプリケーションをお持ちの場合は、Deeperに接続したときにDeeper Sonarのファームウェアが自動的にアップデートされます。ファームウェアをアップデートするには、バッテリーを50%以上充電する必要があります。

•すべてのDeeperソナーはリチウム電池で動いています。リチウム電池はその特性上、定期的に充電することで寿命を延ばすことができます。PRO、PRO +、CHIRP +およびSTARTは少なくとも6ヶ月に1回充電することをお勧めします。もし使用していなくても、Deeper 3.0は2ヶ月ごとに充電してください。

•Deeperを清潔で湿気のない環境に保管してください。16°C~22°C (62°F~72°F) の温度が理想的です。また、非常に暑い場所や非常に寒い場所に長時間放置しないでください。

•DeeperPRO、PRO +、CHIRP +、および3.0の上部カバーは、常にしっかりと締める必要があります (▼water▼ ▲proof▲マークが一致するまでしっかりと締めてください)。

•Deeper本体への物理的なダメージを避けてください。他のものや地面にぶつからないようにしてください。強い衝撃を与えると、ソナーに回復不能なダメージを与える可能性があります。

### クリーニング

•柔らかい布で掃除してください。

•ひどく汚れている場合は、水または中性洗剤を含ませた布で拭いてください。

•Deeperの表面を傷つける可能性があるため、研磨パッドや磨き粉、アルコールやベンゼンなどの溶剤を使用しないでください。

•着水センサー (DeeperPRO、PRO +、CHIRP +、および3.0の底面の2つの金属部分) のクリーニングは、スポンジでこすって行います。必要に応じて電子接点クリーナーを使用できます。